ニコンデジタルカメラ

クールピクス **SQ**

COOLPIX SQ (Jp)

使用説明書

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows® は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe Acrobat はAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- Pentium は米国インテル社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX SQをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX SQで撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

●本文中のマークについて

✔	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
💡	カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
📎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
👁	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●コンパクトフラッシュカードの表記について

本書では、コンパクトフラッシュカードを**CF**カードと表記しています。

●「初期設定」について

本書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

 分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。

電池を取る すぐに 修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。 電池を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電池または専用ACアダプタを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。

⚠ 注意（カメラについて）

 保管注意	**製品は幼児の手の届かないところに置くこと** ケガの原因になることがあります。
 保管注意	**使用しないときは、レンズキャップをつけるか、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
 移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
 禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプタ）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。ACアダプタで使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
 禁止	**本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
 放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 危険（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

 禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは、端子カバーをつけてください。
使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL2は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX SQに対応しています。EN-EL2に対応していない機器には使用しないこと。** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 当社サービス部門やリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

- 下記のホームページからも登録できます。

  http://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、裏面の当社サービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

各部の名称

カメラ

シャッターボタン
（17、34）

モードダイヤル
（16、30）

電源スイッチ
（26、30）

電源ランプ
（23、26）

マイク
（54、57、68）

スピードライト
（40）

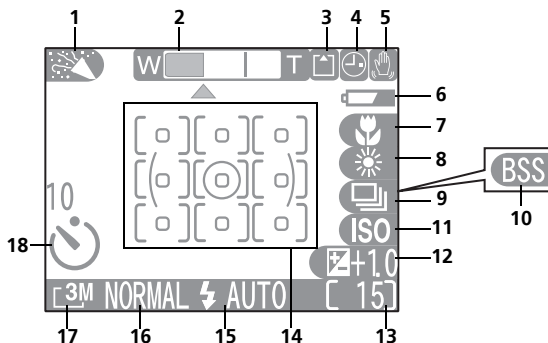
セルフタイマーランプ/AF補助光
（44、36）

レンズ
（32、98、107）

オーディオビデオ出力端子
(58)
ズームボタン(/)
(33、55、56)
(再生)ボタン
(38)
スピードライトランプ
(34)
DC入力端子
(21)
端子カバー
(21、58)
マルチセレクター
(17)
液晶モニタ
(14、31)
バッテリー/
CFカードカバー
(20、24)
スピーカー
(57、69)
ストラップ取り付け部
(19)
(マクロ/
セルフタイマー)/
(削除)ボタン
(42、43、39)
三脚ネジ穴
(22、44、47、99)
COOL-STATION接続端子
(22、62)
(露出補正/
スピードライトモード)/
(転送設定)ボタン
(45、40、61)
MENU(メニュー)ボタン
(46、71、82)
Nikon
MENU

液晶モニタ

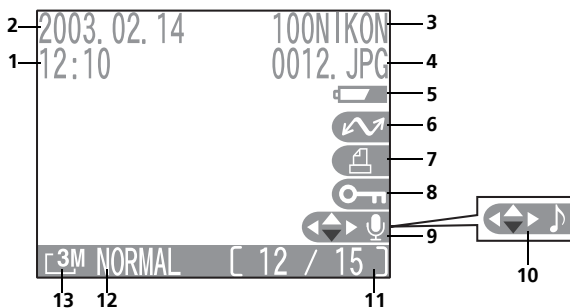
■撮影時

撮影時に液晶モニタには次のような設定内容が表示されます。

1	撮影モード/シーンモード	31、46、68
2	ズーム表示1)	33、42
3	画像記録中表示	35
4	時計マーク2)	29
5	手ブレ警告3)	41、47、101
6	バッテリーチェック4)	26
7	マクロモード	42
8	ホワイトバランス	75
9	連写モード	78
10	BSS	79
11	感度表示5)	41
12	露出補正マーク/露出補正値	45
13	撮影可能コマ数/動画時間表示	31、74/68
14	測光エリア/AFエリア	34、77、80
15	スピードライトモード	40
16	画質モード	73
17	画像サイズ	73
18	セルフタイマー/カウントダウン表示	43

1) ズーム操作時に表示
2) 日時が設定されていない場合に点滅表示
3) シャッタースピードが遅い時に表示
4) バッテリー残量が少なくなった時に表示
5) カメラが自動的に感度を上げている時に表示

※図は説明のために全ての表示を点灯させたものです。

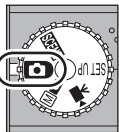
■再生時

再生時に液晶モニタには次のような画像情報が表示されます。

1	撮影時刻 28	8	プロテクト表示 86
2	撮影日付 28	9	音声メモ録音ガイド 57
3	フォルダ名 39	10	音声メモ再生ガイド 57
4	ファイル名 39	11	表示画像コマ番号/総画像コマ数 ... 38、69
5	バッテリーチェック* 26	12	画質モード 73
6	転送マーク 61	13	画像サイズ 73
7	プリント表示 65		

*バッテリー残量が少なくなった時に表示

再生時の画像情報の表示について

再生時の画像情報は、約5秒間で表示が消え、音声メモ録音ガイドまたは音声メモ再生ガイドのみ表示されます。マルチセレクターの▲を押すと、再度5秒間、画像情報が表示されます。

モードダイヤル

モードを切り換えるときは、使用したいモードのアイコン（[オート撮影]、[M撮影]、[動画]、SCENE、SET UP）を電源ランプの位置に合わせます。

[オート撮影] オート撮影モード

カメラまかせで簡単に撮影できます。デジタルカメラを初めてお使いになる方におすすめのモードです。

30

SCENE シーンモード

15種類のシーンモードから撮影状況に合ったモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思い通りの撮影が簡単に楽しめます。

46

[M撮影] マニュアル撮影モード

8種類の撮影メニューから自由に設定して、撮影意図に適した設定で撮影できます。

70

[動画] 動画モード

最長約40秒の動画を音声付きで撮影できます。

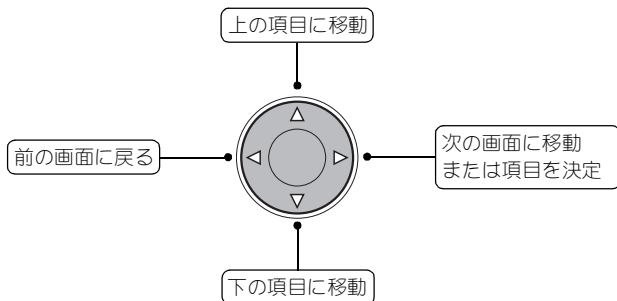
68

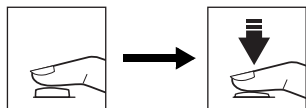
SET UP セットアップモード

セットアップメニューが表示されます。CFカードの初期化や、日時設定などのカメラの基本的な設定を行います。

91

マルチセレクターの使い方

COOLPIX SQの撮影機能やメニューは、マルチセレクターを使って操作します。

シャッターボタンについて

シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。「半押し」したまま、さらにシャッターボタンを押し込むと撮影できます。

1 シャッターボタンを半押しするとピントと露出が決まり、液晶モニタに緑色の**AF**エリアが点灯します。

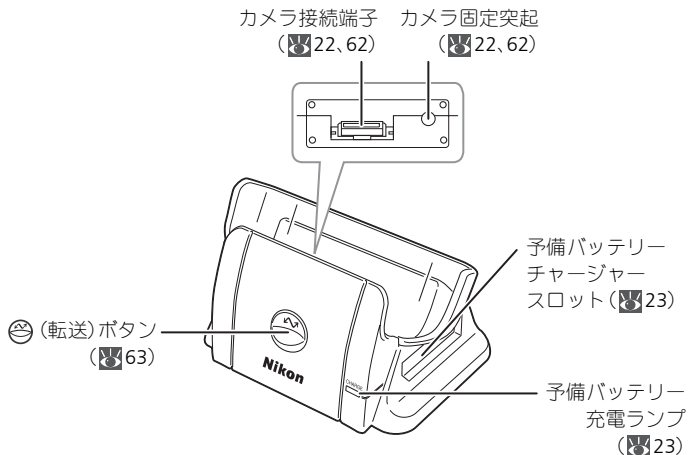
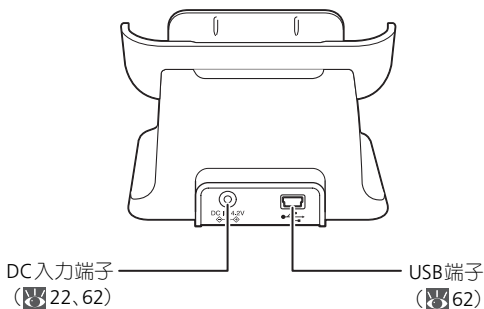
- 半押し中は、ピントと露出が固定されます。

2 半押しした状態からシャッターボタンをさらに深く押し込むと、撮影できます。

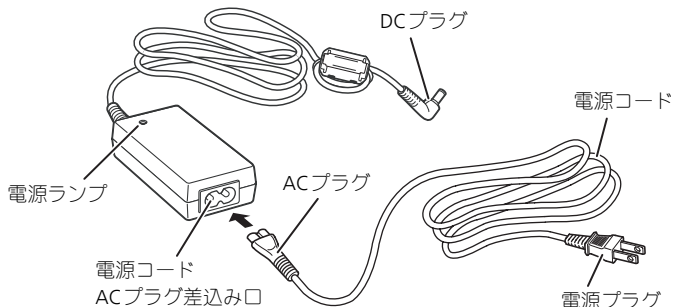
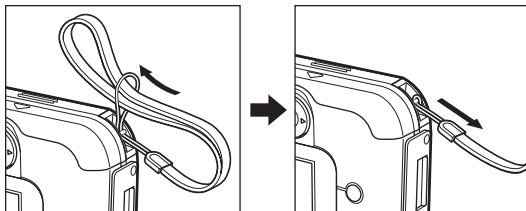
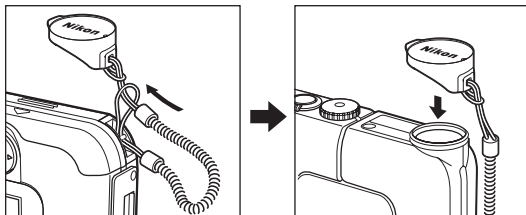
COOL-STATION（クールステーション）

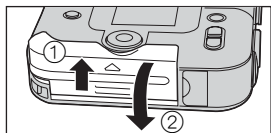
カメラをCOOL-STATION MV-10にセットすると、次のことができます。

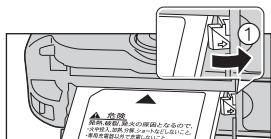
- カメラに入っているバッテリーを充電することができます（22）。
- 予備のバッテリーを充電することができます（23）。
- 撮影した画像をパソコンに転送することができます（59）。

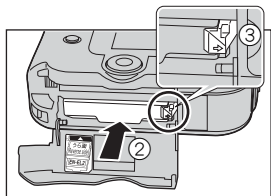
■前面部

■背面部

ACアダプタ

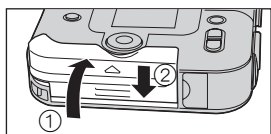
ACアダプタEH-61は、COOL-STATION（22、62）またはカメラ（21）に直接接続して家庭用電源（AC100V）から電源を供給できます。

• **EH-61**

● ストラップの取り付け方

● レンズキャップの取り付け方

バッテリーを入れます

このカメラは、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL2を使用します。

1 バッテリー/CFカードカバーを開けます。

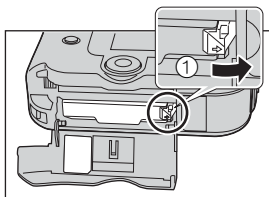
- バッテリー/CFカードカバーをスライドさせ（①）、開けます（②）。

2 バッテリーを入れます。

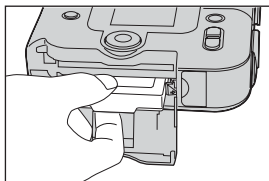
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリーの側面で押しながら（①）、カバー裏側にある図にしたがってバッテリースロットの中に入れます（②）。
- バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーがロックされます（③）。

3 バッテリー/CFカードカバーを閉じます。

- カバーを閉じて（①）、②の矢印の方向にスライドさせます。
- カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

バッテリーについてのご注意

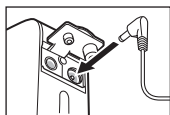
リチャージャブルバッテリー EN-EL2の取り扱いについては、付属のバッテリーの使用説明書を参照ください。また、バッテリーを入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（6）や「バッテリーの取り扱いについて」（100）の注意事項を必ずお守りください。

バッテリーを取り出すには

バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源をOFFにしてから、取り出してください。

1 オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向(①)に押します。

- バッテリーが少し飛び出します。

2 バッテリーを取り出します。

使用できるその他の電源について

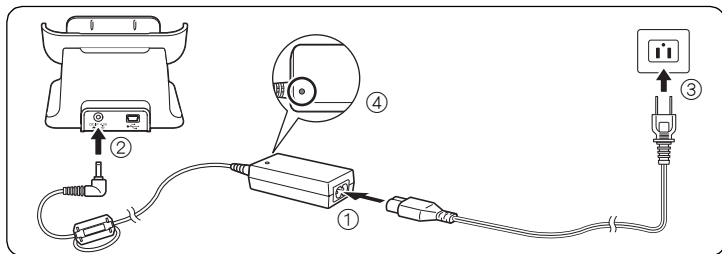
カメラを長時間ご使用になる場合は、付属のACアダプタEH-61をご使用ください。

- ACアダプタを使用する場合は、端子カバーを開け、カメラのDC入力端子にACアダプタのDCプラグを差し込みます。

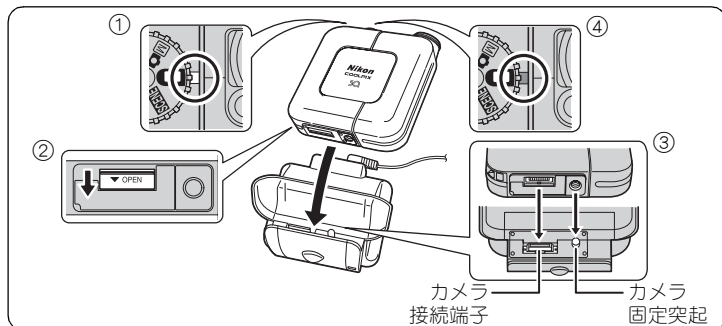
- ACアダプタを長時間接続すると、カメラ本体およびACアダプタが熱を持つことがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタの取り扱いについては、付属のACアダプタの使用説明書を参照ください。

ACアダプタをご使用になる場合は、当社製ACアダプタEH-61をご使用ください。その他のACアダプタは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

バッテリーを充電します

付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL2は、カメラを初めてお使いになるときはフル充電されていません。初めてご使用になるときやバッテリーの残量が少なくなったときは次の手順にしたがって、バッテリーをフル充電してください。
バッテリーはカメラに入れた状態（20）で、付属のCOOL-STATION MV-10にセットして充電します。**（充電時間：残量のない状態で約2時間）**

1 COOL-STATIONにACアダプタEH-61を接続します。

① ACアダプタEH-61に電源コードのACプラグを差し込みます。
② COOL-STATIONのDC入力端子にACアダプタEH-61のDCプラグを差し込みます。
③ 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- コンセントに差し込むとACアダプタEH-61の電源ランプが点灯します（④）。

2 カメラをCOOL-STATIONにセットして、充電します。

①カメラにバッテリーを入れ、カメラの電源がOFFになっていることを確認します。

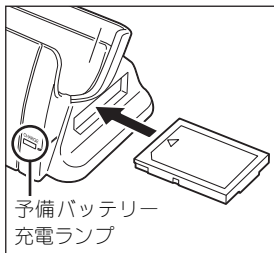
カメラの電源がONになっていると（電源ランプが緑色点灯の状態）、バッテリーは充電されません。

②カメラのCOOL-STATION接続端子カバーを開けます。
③カメラをCOOL-STATIONにセットします。
- カメラ側の接続端子および三脚ネジ穴と、COOL-STATION側の接続端子およびカメラ固定突起の位置を合わせて、最後までしっかりと差し込んでください。

④カメラの電源ランプが赤く点滅し、充電を開始します。

カメラの電源ランプの状態	意 味
赤色点滅	充電中です。
赤色点灯	充電完了しました。
早い赤色点滅	•カメラが正常にセットされていません。再度正しくセットし直してください。 •バッテリーに異常があります。充電できません。バッテリーを交換してください。
緑色点灯	カメラの電源がONになっています。カメラの電源をOFFにしてください。
消灯	カメラが正常にセットされていないか、バッテリーが入っていません。再度正しくセットし直してください。

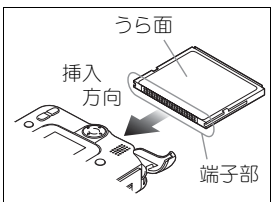
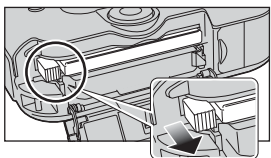
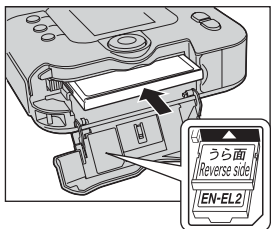
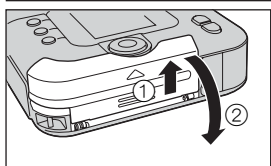
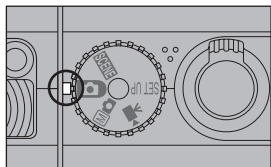
バッテリーを直接充電するには

リチャージャブルバッテリー EN-EL2 をCOOL-STATIONに直接差し込んで充電することもできます。

予備バッテリー充電ランプ

- バッテリーを正しい方向でCOOL-STATIONの予備バッテリーチャージャースロットにしっかりと奥まで差し込みます。
- 予備バッテリー充電ランプが赤く点滅し、充電を開始します。
- カメラ内のバッテリーを充電しているとき、またはカメラの電源がONになっているときは、予備バッテリーは充電されず、予備バッテリー充電ランプは消灯します。

充電ランプの状態	意 味
赤色点滅	充電中です。
赤色点灯	充電完了しました。
早い赤色点滅	バッテリーに異常があります。充電できません。バッテリーを交換してください。

COOL-STATIONに、バッテリーの入ったカメラと予備のバッテリーの両方がセットされている場合は、まずカメラ内のバッテリーが充電されます。カメラ内のバッテリーの充電が完了すると、次に予備バッテリーチャージャースロットに差し込まれているバッテリーが充電されます。

CFカードを入れます

1 カメラの電源が**OFF**になっていることを確認します。

- 電源ランプが消灯していることを確認してください。

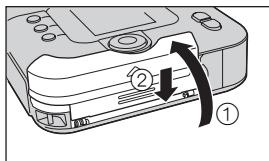
2 バッテリー/CFカードカバーを開けます。

- バッテリー/CFカードカバーをスライドさせ(①)、開けます(②)。

3 **CF**カードを入れます。

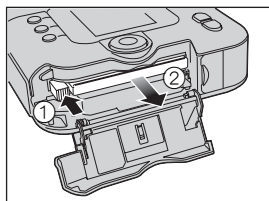
- CFカードのうら面をカメラの液晶モニタ側にして、CFカードスロットに差し込みます。

- カバー裏側にある図のようにしっかりと奥まで押し込むと、イジェクトレバーが手前に出てきます。

- CFカードを装着するときには、CFカードの端子側からカメラに挿入してください。
- 向きを間違えて装着すると、カメラおよびCFカードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。

4 バッテリー/CFカードカバーを閉じます。

- カバーを閉じて（①）、②の矢印の方向にスライドさせます。
- カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

CFカードを取り出すには

CFカードを取り出すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

バッテリー/CFカードカバーを開け、イジェクトレバーを押し込んで(①)、CFカードを取り出します(②) 。

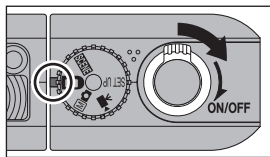
- カメラの使用直後は、CFカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは十分ご注意ください。

CFカードの初期化

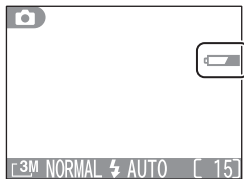
付属のCFカードはCOOLPIX SQ用に初期化されています。その他のCFカードを初めてこのカメラで使用する場合は、CFカードを初期化する必要があります。

詳しい手順については、「カードの初期化」（90）をご覧ください。

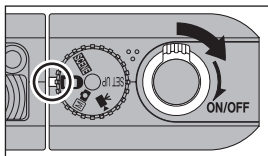
使用できるCFカードについては97をご覧ください。

電源をONにして、バッテリーの残量を確認します

1 電源をONにします。

- 電源スイッチを回し、止まるところで静かに指を離します。電源がONになると、電源ランプおよび液晶モニタが点灯します。

2 液晶モニタに表示されるバッテリーチェック表示を確認します。

バッテリーチェック表示

表示	意味	カメラの状態
表示なし	バッテリーは充分に充電されています。	撮影できます。
（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。充電済みのバッテリーと交換するか、充電することをおすすめします。	撮影できますが、連写コマ数等に制限があります。
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーと交換するか、充電してください。	撮影できません。

カメラの電源をOFFにするときには

電源ランプが点灯しているときに、電源スイッチを回すと、電源はOFFになります。

- 電源ランプが消灯するまでバッテリーを取り出したり、ACアダプタを外したり、CFカードを取り出したりしないでください。

オートパワーオフ機能について

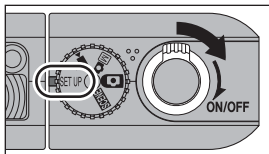
- カメラの電源をONにしたまま、何も操作しない状態で約1分間（初期設定）経過すると、バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が作動し、自動的にカメラの電源がOFFになります（ACアダプタEH-61を使用している場合は、30分に固定されます）。
- オートパワーオフ機能が作動するまでの時間はセットアップメニューの「オートパワーオフ」で変更できます（95）。

▶ ボタンによる電源ON

▶ ボタンを2秒以上押し続けた場合も、電源がONになり、直接1コマ再生モード（38）に入ります。

日付と時刻を設定します

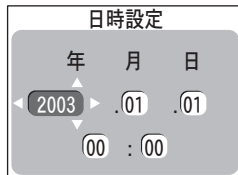
カメラを初めてご使用になる場合やバックアップ電池が切れた場合は、次の手順にしたがって日時を設定してください。

1

モードダイヤルをSET UPにセットして、電源を**ON**にします。

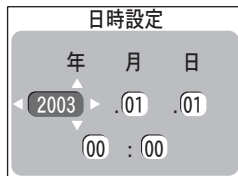
- 電源をONにすると、液晶モニタにオープニング画面が表示された後、セットアップメニューが表示されます。

2

マルチセレクターの▼を押して「日時設定」を選択します。

3

▶を押します。

- 「日時設定」の画面が表示され、「年」が赤色で点滅表示します。

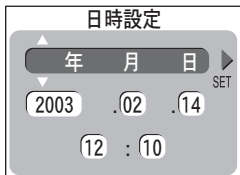
4

▲または▼を押して「年」を合わせます。

- ▶を押して次の設定に移動します。

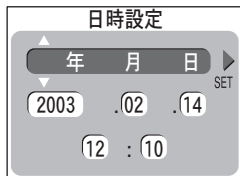
2 撮影前の準備

5

手順**4**を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

6

▶を押します。

- 「年月日」に設定が移動します。

7

▲または▼を押して「年月日」「月日年」「日月年」から、日付の表示順を選択します。

8

▶を押します。

- 日付と時刻の設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

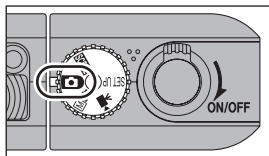
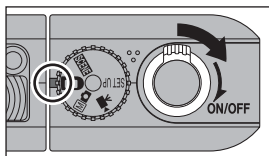
バックアップ電池について

バックアップ電池は、バッテリーやACアダプタでカメラに電源が供給されていると、約20時間で充電されます。充電が完了すると、カメラからバッテリーを取り出したり、ACアダプタを外しても記録された日時は約1日間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入っていないと、設定した日時データは解除されますので、再度日時を設定してください。

日時を設定しないときは

日時設定を行わないと、撮影時に液晶モニタの右上に◷(14)が点滅し、撮影した画像の撮影日時情報は、「0000.00.00 00:00」と記録されます。

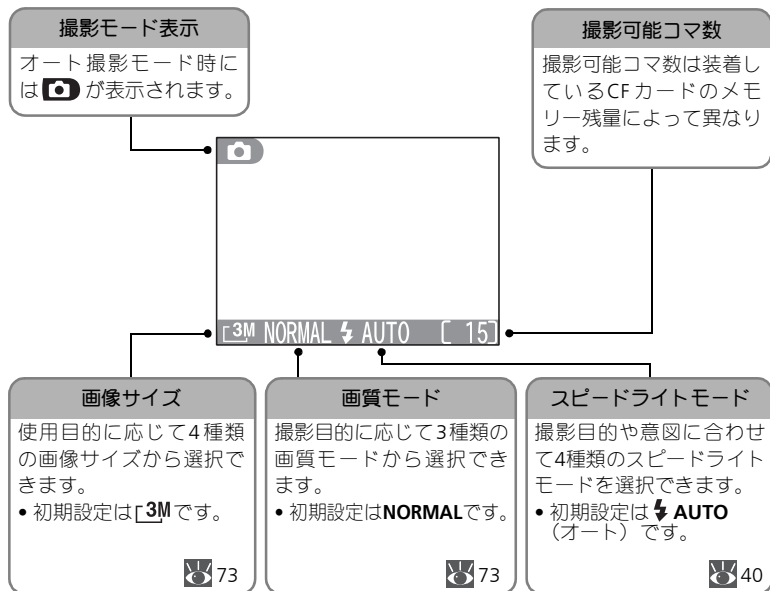
1. [カメラ] (オート撮影) モードにセットします

[カメラ] モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 モードダイヤルを [カメラ] にセットします。

2 カメラの電源を**ON**にします。

- 電源スイッチを矢印の方向に回します。
- 電源をONにすると電源ランプが点灯し、液晶モニタにオープニング画面（92）が表示された後、撮影画面に変わります。

M[カメラ]（マニュアル撮影）モード

モードダイヤルをM[カメラ]にセットすると、[カメラ] モードでの機能に加えてホワイトバランスや連写、AFエリア選択などの8種類の撮影メニューの設定ができます。撮影者が意図的にいろいろ工夫できるモードです。

詳しくは撮影メニューの各項目（70）をご覧ください。

メモリー残量について

「メモリー残量がありません」という警告メッセージが表示されたときは、CFカードに撮影できるメモリー残量がないため、撮影を行うことができません（102）。このときは以下のいずれかの方法で対応してください。

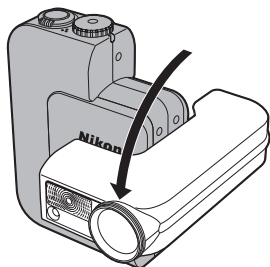
－画質モードや画像サイズを変更する（条件によっては撮影できない場合があります）（73）

－新しいCFカードに交換する（24）

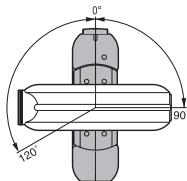
－CFカードに記録されている画像を削除する（39、84）

アドバンストブライトネスコントロール機能

COOLPIX SQの液晶モニタには、撮影時に外光の明るさに応じて液晶モニタの明るさを変えて見やすくするアドバンストブライトネスコントロール機能を搭載しています。

2. カメラを構え、構図を決めます

1 レンズの角度を決めます。

- レンズ部は前方に最大120° まで、後方（液晶モニタ側）に最大90° まで回転します。

前方 ← → 後方（液晶モニタ側）

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。

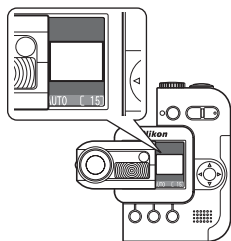
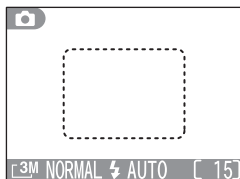
カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかかったり、写り込んだりしないように注意してください。

レンズ部を回転させるときのご注意

レンズ部を回転させるときは指や髪、洋服などをはさみこまないように注意してください。また、レンズ部の回転は、回転範囲内でゆっくりと行ってください。

セルフポートレート撮影について

レンズを撮影者側（液晶モニタ側）に向けると、セルフポートレート撮影が可能になります。このとき液晶モニタに鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

- レンズを液晶モニタ側に向けると、通常の撮影画面より小さくなりますが、撮影された画像には影響ありません。

3 構図を決めます。

- 写したいものを液晶モニタの中央に合わせ、構図を決めます。

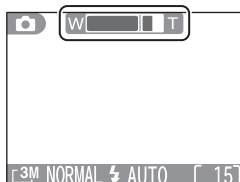
広角

望遠

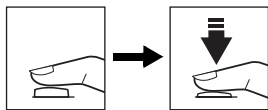
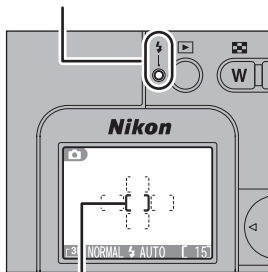
ズームボタンを押している間、ズーム表示が表示されます。

電子ズーム時

4 ズームボタンを使います。

- COOLPIX SQは、3倍の光学ズームを装備しています。ズームボタンで、被写体の大きさを変えることができます。
- **W**ボタンを押すと、広角側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。
- **T**ボタンを押すと、望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- 光学ズームを最も望遠側にして、**T**ボタンを2秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。電子ズームは、被写体を光学ズームの最大倍率（3倍）の約4倍（合計12倍）まで拡大します。電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで**W**ボタンを押し続けてください。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。
- 電子ズーム作動中は、AF エリアは中央に固定され、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が、緑色点灯または赤色点滅します（35）。

3. ピントを合わせて撮影します

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます。
- [カメラ] モードでは、5点のAFエリアのうち、カメラから一番手前にある被写体に重なっているAFエリアを使用してカメラが自動的にピントを合わせます。
- ピントが合うと使用したAFエリアが緑色に点灯します。

スピードライトランプ

AFエリア

シャッターボタンを半押ししたときのAFエリアとスピードライトランプの状態は、次のとおりです。

状 態		意 味
AFエリア（AF● 35）	点灯（緑色）	被写体にピントが合っています。
	点滅（赤色）	被写体にピントを合わせることができません。 構図を変えて再度ピントを合わせてください。
スピードライトランプ ⚡	点灯	スピードライトを発光します。
	点滅	スピードライトは充電中です。いったんシャッターボタンから指を離し、もう一度押し直してください。
	消灯	スピードライトは発光しません。

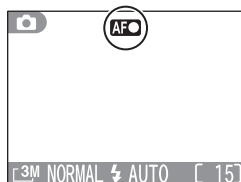
2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。

画像記録中についてのご注意

- 撮影直後の撮影画像を表示中も、シャッターボタンを押すと撮影できます。
- [▲]（画像記録中表示）または⌛マークを表示中は、画像をCFカードに記録していますので、CFカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。
- 液晶モニタに⌛マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。

AF表示について

レンズを液晶モニタ側に向けて撮影するセルフポートレート撮影時（32）や電子ズームの作動中（33）およびパノラマアシストモード（52）での撮影中に、シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が液晶モニタに点灯（緑色）/点滅（赤色）します。AF表示の状態は左の表のAFエリアと同じ状態を表わします。

暗い場所で撮影するときの液晶モニタ画面について

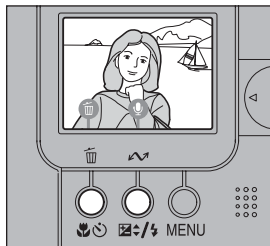
暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために、通常の撮影時の画面と比較してザラついた画面になることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体について

COOLPIX SQのオートフォーカス機能は、次のような場合、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

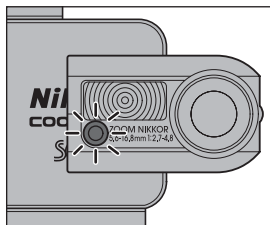
- 非常に暗い被写体
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- コントラストがない被写体（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

画像の削除と音声メモ録音について

撮影直後の数秒間、撮影画像を表示している間に、ボタンを押して画像を削除したり、ボタンを押して最長15秒の音声メモを録音することができます（54）。

AF補助光について

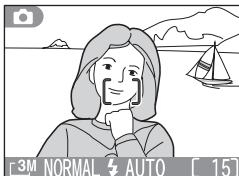
COOLPIX SQは、AF補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しするとAF補助光が自動的に照射され、被写体を照らしてオートフォーカスでのピント合わせを可能にします。

- AF補助光が届く範囲：
  約0.3※～2.2m（広角側）
  約0.3※～1.3m（望遠側）
  ※マクロモードでズーム位置がミドル域の場合は、約0.15m
- シーンモードの（風景）、（トワイライト）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、にセットされている場合は、AF補助光は発光しません（49～51）。

3 簡単な撮影と再生

● 構図を変えて撮影するには（AF/AEロック撮影）

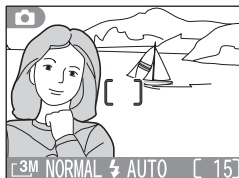
シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、そのまま半押しを続けると、ピントはそのまま固定（AFロック）され、露出も同時に固定（AEロック）されます。シャッターボタンを半押しした状態で構図を変えて撮影すれば、構図を工夫して撮影したい場合や、「オートフォーカスが苦手な被写体」を撮影するときに便利です。

1 ピントを合わせます。

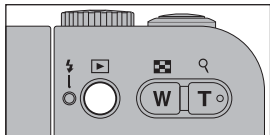
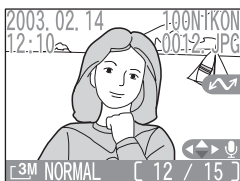
- 写したい被写体を液晶モニタの中央部で一番手前に配置されるようにして、シャッターボタンを半押しします。

2 AFエリアを確認します。

- ピントが合うと、使用したAFエリアが緑色に点灯します。

3 シャッターボタンを半押ししたまま、構図を変えます。

- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントと露出が固定されます。
- 被写体との距離を変えないでください。
- 被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせ直してください。

4 撮影します。

- シャッターボタンを押し込んで撮影します。

4. 撮影した画像を確認します（1コマ再生モード）

1 ▶ボタンを押します。

2 液晶モニタに最後に撮影した画像が表示されます。

- マルチセレクターの◀または▶を押すと、液晶モニタに表示されている前後の画像が表示されます。
- 画像を早送りしたい場合は、マルチセレクターの◀または▶を押し続けてください。
- 1コマ再生モードをキャンセルする場合は、再度▶ボタンを押してください。

1コマ再生モード

1コマ再生モードでは、以下の操作も行うことができます。詳しくは各参照ページをご覧ください。

- 複数の画像を一覧表示する（55）
- 表示されている画像を拡大する（56）
- 画像情報を表示する（15）
- 音声メモを録音・再生する（57）

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態から▶ボタンを2秒以上押し続けると、電源がONになり、直接1コマ再生モードに入ります。

5. 画像を削除します

1

表示されている画像を削除したい場合は、ボタンを押します。

- 削除確認画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、「はい」を選択します。

3

▶を押すと、表示されている画像が削除されます。

- 「いいえ」を選択して▶を押すと、画像は削除されずに1コマ再生モードに戻ります。

ファイル名とフォルダ名

COOLPIX SQで撮影した画像は、カメラが自動的に作成するファイル名（DSCN0001～DSCN9999）でCFカードに記録されます。最初の4文字はファイル名を表しており、次の4桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の4文字はカメラの液晶モニタには表示されません。パソコンに画像を転送した場合のみ確認できます）。各ファイル名の最後には、静止画の場合は.JPG、動画の場合には.MOVという画像のタイプを示す拡張子がつきます。また、ファイルを保存するフォルダもカメラが自動的に作成し、フォルダ名には３桁のフォルダ番号がつけられます（例：100NIKON）。

- ひとつのフォルダ内に200コマの画像がある場合には、フォルダ番号に1を加えた新しいフォルダ（例:100 NIKON→101 NIKON）を自動的に作成します。
- フォルダの中のファイル名の画像番号が9999に達した場合には、カメラが自動的にフォルダを作成し、その新規フォルダ内で再び0001から連番をつけます。
- フォルダ番号が999のときにファイル名の画像番号が9999に達した場合には、CFカードの記録容量に余裕があってもそれ以上撮影できません。CFカードを交換するか、CFカードを初期化（90）してください。なお、ファイルの連番を0001にリセットする場合には、CFカード内の画像を全て削除するか、CFカードを初期化した後、設定クリアを行ってください（96）。

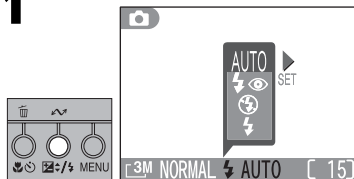
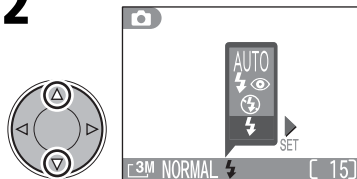
スピードライトを使うには

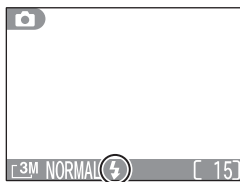
撮影目的や撮影意図に合わせて4 種類のスピードライトモードを選択できます。

モード設定	機 能	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	• 一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	スピードライトが発光する前にあらかじめ数回小発光させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物にスピードライトが小発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	• 暗い場所で自然光をとらえたい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。 • 手ブレ警告表示（ ）が表示される場合は手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	• 昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合などに使用します。

1

撮影モードにセットして /ボタンを押すと、リストが表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、セットしたいスピードライトモードのアイコンを選択します。

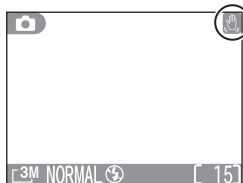
3

▶を押すとスピードライトモードがセットされ、液晶モニタに選択したスピードライトモードのアイコンが表示されます。

- ▶を押さないで2秒以上経過すると、選択したスピードライトモードが自動的にセットされます。

感度表示について

暗い場所でスピードライトモードが発光禁止（⊛）にセットされているときは、シャッタースピードの低下による手ブレを防ぐため、カメラが自動的に感度を上げることがあります。撮像感度が上がっている状態では、液晶モニタに感度表示（**ISO**）が表示されます。**ISO**が表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べ多少ザラついた画像になります。

暗い場所で撮影するときのご注意

発光禁止（⊛）にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなって画像がブレる場合があります。この場合、液晶モニタに手ブレ警告表示（✋）が表示されますので、三脚などを使用し、カメラを安定させて撮影してください。なお、このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。

調光範囲

約0.3※～5.0m（広角側）、約0.3※～3.7m（望遠側）

※マクロモードでズーム位置がミドル域の場合は、約0.15m

電源をOFFまたはモードダイヤルの切り換え時のスピードライトモードの記憶について

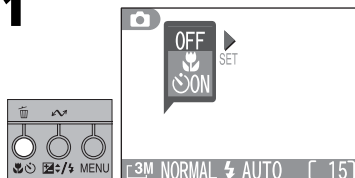
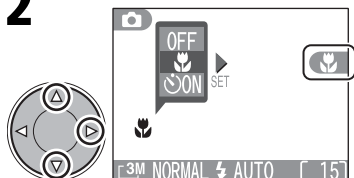
- 撮影モードが📷の場合：**AUTO** または⚡👁のうち、最後に設定して撮影した方のモードが記憶されます。
- 撮影モードがM📷の場合：最後に設定して撮影したスピードライトモードが記憶されます。
- シーンモードの場合：各シーンモードに合わせて、スピードライトモードが自動的に設定されます。

手軽に接写するには(マクロモード撮影)

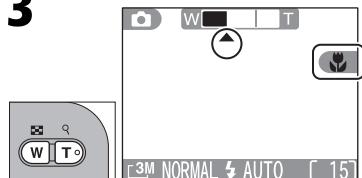
マクロモードにセットすると最短約4cmまで被写体に近づいて撮影することができます。

1

撮影モードにセットして🌷⏲ボタンを押すと、リストが表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、🌷を選択し、▶を押します。

- マクロモードがセットされ、液晶モニタに🌷アイコンが表示されます。
- ▶を押さないで2秒以上経過すると、選択したモードが自動的にセットされます。

3

構図を決めます。

- 液晶モニタの🌷アイコンとズーム表示が緑色に表示されるズーム位置（▲の位置）では、レンズ前約4cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

マクロモードについてのご注意

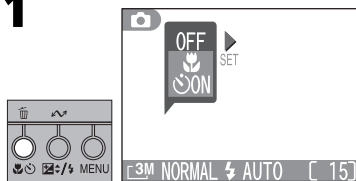
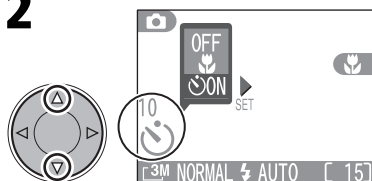
- 15cm よりも近距離でスピードライトを使用すると、光が十分に行きわたらないことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。
- 動画モードや選択されているシーンモードによっては、マクロモードが設定できない場合があります(👁 47～51、68)。

自分も一緒に写すには(セルフタイマー撮影)

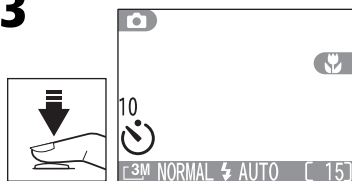
約10秒または約3秒のセルフタイマー撮影を選択できます。撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたいときなどに便利です。

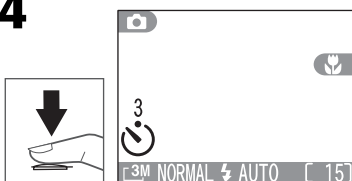
1

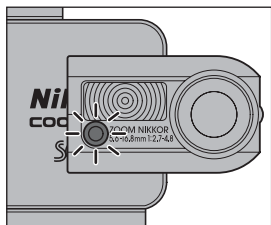
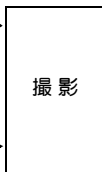
撮影モードにセットして🌷⏲ボタンを押すと、リストが表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、⏲**ON**を選択し、▶を押します。

- セルフタイマーがセットされると、液晶モニタに⏲アイコン、カウントダウン表示および🌷アイコンが表示されます。
- ▶を押さないで2秒以上経過すると、選択したモードが自動的にセットされます。

3

構図を決め、シャッターボタンを半押して、ピントを合わせます。

4

シャッターボタンをさらに押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

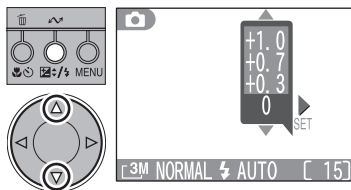
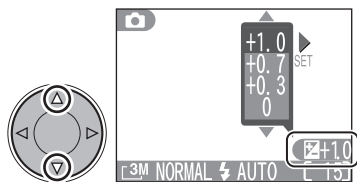
- シャッターボタンを一度押すと10秒間タイマー、もう一度押すと3秒間タイマーが作動します。シャッターボタンをさらにもう一度押すとセルフタイマーは停止します。
- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます。

- シャッターボタンを押すとピントと露出が固定され、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し始めます。セルフタイマーランプはシャッターがきれる直前に約1 秒間点灯します。

レンズ前4cmまでピントを合わせることができます。

セルフタイマーをセットすると、マクロモード撮影（42）も可能になり、アイコンも同時に表示されます。アイコンとズーム表示が緑色に表示されるズーム位置（▲の位置）では、レンズ前約4cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

セルフタイマー使用時のご注意

- セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。
- 動画モードや選択されているシーンモードによっては、セルフタイマーを ON に設定できない場合があります(47、51、52、68)。

露出を補正して撮影するには

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。露出補正ができる範囲は－2.0EVから＋2.0EVまでです。

1 撮影時に、露出補正/フラッシュボタンを押しながらマルチセレクターの▲または▼を押すと、リストが表示されます。

2 ▲または▼を押して、セットしたい露出補正値を選択します。

- 0 以外にセットすると、液晶モニタに露出補正マーク（露出補正マーク）と補正値が表示されます。

4 いろいろな撮影

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

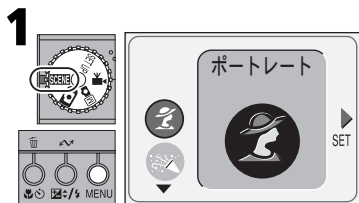
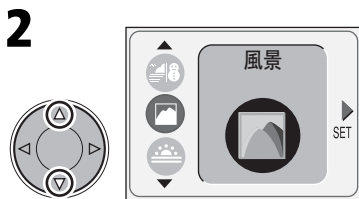
露出補正について

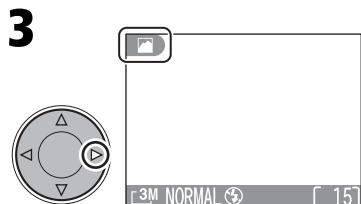
- 露出補正をキャンセルするには、露出補正値を0にセットしてください。ただし、撮影モードまたはシーンモードで露出補正を設定した場合には、電源をOFFにしたり、他のモードダイヤルに切り換えてもキャンセルできます。
- 動画モードでは露出補正値をセットすることはできません。

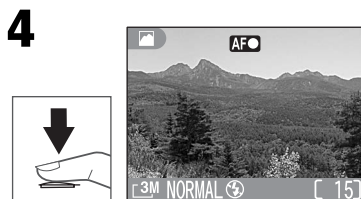
シーンモードを使うには

COOLPIX SQには15種類のシーンモードが用意されています。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思い通りの撮影が簡単に楽しめます。

シーンモードの選び方

1

モードダイヤルをSCENEにセットし、**MENU**ボタンを押すと、シーンモード選択画面が表示されます。

マルチセレクターの▲または▼を押して、シーンモードのアイコンを選択します。

3

▶を押します。

- 選択したシーンモードがセットされて、撮影画面に戻ります。
- 選択したシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。

撮影します。

シーンモードについて

- 選択されているシーンモードによって、スピードライトモード（⚡：40）、マクロモード（🌷：42）、AFモード（81）に制限がかかります。詳しくは各シーンモードの説明をご覧ください。
- （スポーツ）および（クローズアップ）以外のシーンモードでは、AF モードはシングルAFとなります。ただし、マクロモードがセット可能なシーンモードでマクロモードをセットすると、常時AFとなります（81）。
- （打ち上げ花火）および（パノラマアシスト）では、セルフタイマーは使用できません。
- **ISO**が表示されているときに撮影された画像は、多少ザラついた画像になります。
- 撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待通りの結果にならない場合があります。このような場合は、モードまたはⓂモードで再度撮影することをおすすめします。

シーンモードでの画質モードと画像サイズ

シーンモードに設定しているときは、またはⓂモードで設定した画質モード（73）と画像サイズ（73）で記録されます。

ノイズ除去機能について

シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。シーンモードの（夜景ポートレート）、（トワイライト）、（夜景）でノイズが発生するような遅いシャッタースピードになる撮影では、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、撮影後の画像の記録に通常より2 倍以上の時間がかかります。

手ブレ度合い表示について

手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。遅いシャッタースピードでは手ブレを警告するアイコンが液晶モニタに表示されます。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。

★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。

★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

シーンモード

ポートレート

人物の撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。
- 背景をぼかす度合いは、光の明るさで変化します。
- AFエリアはマニュアル(9点)になります。マルチセレクターでAFエリアを選択してください(80)。

フラッシュ	(全モードに変更可能)	マクロ	不可

パーティー

パーティー会場などでキャンドルライトをきれいに写すなど、被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。
- AFエリアは中央に固定されます。
- 手ブレ度合い:★

フラッシュ	(全モードに変更可能)	マクロ	不可

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。
- ノイズ除去機能が自動的にセットされます。
- AFエリアは中央に固定されます。
- 手ブレ度合い:★

フラッシュ	(赤目軽減強制発光になります)	マクロ	不可

スポーツ

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体の一瞬の動きを捕らえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいときに使用します。
- シャッターボタンを深く押し続けることにより、約1.5コマ/秒で連続撮影が可能になります（ただし、マークが液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります)。ピントと露出、ホワイトバランスは、1コマ目を撮影した条件に固定されます。
- AFエリアは中央に固定されます。
- AFモードは自動的に常時AFにセットされます（81)。

フラッシュ	発光禁止	マクロ	不可

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。
• AFエリアは中央に固定されます。

	AUTO(全モードに変更可能)		可能

風景

風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。
• フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
• シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が緑色に点灯します。
• 被写体が暗い場合でもAF補助光は発光しません（36）。

			不可

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見た目のままに美しく表現します。
• AFエリアは中央に固定されます。
• 手ブレ度合い:★

			不可

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写します。
• ノイズ除去機能が自動的にセットされます。
• フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
• シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が緑色に点灯します。
• 被写体が暗い場合でもAF補助光は発光しません（36）。
• 手ブレ度合い:★

			不可

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

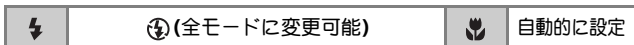
- ノイズ除去機能が自動的にセットされます。
- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が緑色に点灯します。
- 被写体が暗い場合でもAF補助光は発光しません（36）。
- 手ブレ度合い:★★

			不可

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などを近接撮影したいときに使用します。

- ズーム表示が緑色に表示されるズーム位置（▲の位置）に自動的にセットされ、レンズ前約4cmまで被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- AFエリアはマニュアル(9点)になります。マルチセレクターでAFエリアを選択してください(80)。
- AFモードは自動的に常時AFにセットされます(81)。
- 手ブレ度合い:★

	(全モードに変更可能)		自動的に設定

ミュージアム

スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影する時に使用します。

- BSS 機能（79）が自動的にONになります。最大10 コマの連続撮影をカメラが自動的に行い、より鮮明な画像を1 コマ選択します。
- AFエリアは中央に固定されます。
- 被写体が暗い場合でもAF補助光は発光しません（36）。
- 博物館、美術館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 手ブレ度合い:★

			可能

打ち上げ花火

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が緑色に点灯します。
- 被写体が暗い場合でもAF補助光は発光しません（36）。
- セルフタイマーは使用できません。
- 露出補正はできません。
- 手ブレ度合い:★★

			不可

モノクロコピー

A HISTORY OF NIKON CAMERAS

1917 NIPPON KOGAKU K.K. (NIKON CORPORATION) WAS ESTABLISHED ON JULY 25.

1948 NIKON I
NIKON'S FIRST COMPACT-SIZE RANGEFINDER, FOCAL PLANE SHUTTER CAMERA. UNIQUE 24MM × 32MM PICTURE FORMAT.

1949 NIKON M
THE SECOND RANGEFINDER CAMERA WITH A 24MM × 34MM PICTURE FORMAT.

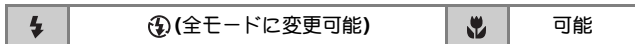
1950 NIKON S
RANGEFINDER FOCUSING, BUILT-IN FLASH SYNCHRONIZATION. FORMAT SIZE 24MM × 36MM.

1954 NIKON S2
THE FIRST JAPANESE CAMERA TO INCORPORATE A FILM ADVANCE LEVER AND A REWIND CRANK.

1957 NIKON SP
THE FIRST NIKON CAMERA TO FEATURE TITANIUM SHUTTER CURTAINS. ACCEPTS THE WORLD'S FIRST BATTERY-POWERED MOTOR DRIVE FOR CONTINUOUS SHOOTING UP TO 3 FRS/SEC.

ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- AFエリアは中央に固定されます。
- 名刺など近くのものを撮影する場合は、マクロモードにセットしてください（42）。
- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

	(全モードに変更可能)		可能

逆光

逆光状態の時に、人物が影にならず美しく撮影することができます。

- AFエリアは中央に固定されます。

			不可

4 いろいろな撮影

パノラマアシスト

複数の画像を最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。後からパノラマ画像作成ソフトを使用して、複数の画像を組み合わせて1つの画像に合成する場合に便利です。

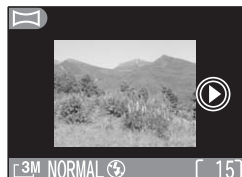
- シャッターボタンを半押しすると、AFエリアのかわりにAF表示（AF●）が点灯（緑色）／点滅（赤色）します（35）。
- セルフタイマーは使用できません。

フラッシュ	(全モードに変更可能。ただし、最初に撮影したモードで固定)	マクロ	可能

パノラマアシストモードの撮影手順

1

シーンモード選択画面でマルチセレクターの▲または▼を押してパノラマアシストを選択します。

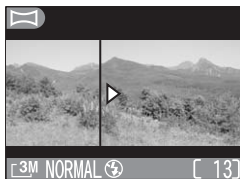
2

▶を押します。

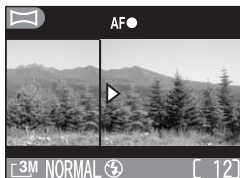
- パノラマ方向表示（▷）が表示され、画面中央に撮影画面が縮小表示されます。

3

シャッターボタンを押して最初の画像を撮影します。

- 液晶モニタ画面の左側には直前に撮影した画像の左端から約2/3が表示され、右側には撮影画面が表示されます。

4

先に撮影した画像の絵柄と撮影画面の絵柄がつながるようにカメラの構図を合わせます。

5

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。

- 手順4、5を繰り返して、パノラマ画像を構成する全ての画像を撮影します。

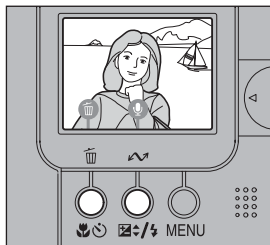
6

パノラマアシストモード撮影は、以下の方法で終了します。

- **MENU** ボタンまたは ▶ ボタンを押す。
- モードダイヤルを切り換える。
- 電源をOFFにする。

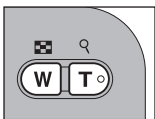
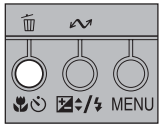
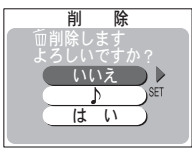
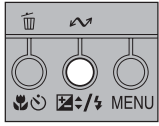
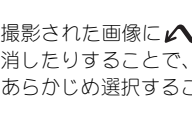
パノラマアシスト撮影について

- パノラマアシストモードで撮影する場合は三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。
- パノラマアシストモードでレンズを液晶モニタ側に向けて撮影することはできません。
- パノラマアシストモードで撮影するごとに「P」（例：P_001）という名称の専用フォルダがCFカードに作成され、一連の画像が保存されます。

撮影直後の画像の削除と音声メモ録音

撮影直後から数秒間、液晶モニタに撮影された画像が表示されます。この間に次の操作が可能です。

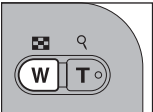
機 能	ボタン	内 容
表示されている画像を削除する	MENU	🗑ボタンを押すと、数秒間、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」または「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。 削　除 🗑削除します よろしいですか？ いいえ は　い SET • いいえ： 画像は削除されずにCFカードに記録されます。 • はい： 画像は記録されずに削除されます。
音声メモを録音する	MENU	☑⇕/⚡ボタンを押している間、カメラのマイクを使用して最長約15秒の音声メモを録音できます。☑⇕/⚡ボタンから指を離すか、約15秒経過すると録音が終了します。

画像の削除と音声メモ録音のご注意

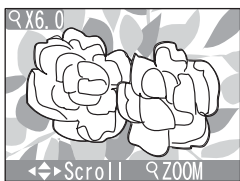
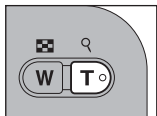
▭マーク点灯時やスピードライト発光後は、画像の削除や音声メモの録音ができないことがあります。

音声メモについての詳細は 57をご覧ください。

カメラで再生する

一覧表示する(サムネイル再生モード)

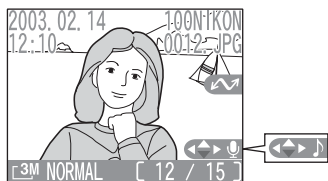
1コマ再生モード（38）時に(W)ボタンを押すと、4コマの縮小した画像(サムネイル画像)が表示される「サムネイル再生モード」になります。サムネイル再生モードでは、次の操作が可能です。

機能	ボタン	内容
画像を選択する		マルチセレクターの▲/▼/◀/▶を押して画像を選択します。
表示コマ数を変更する		• サムネイル画像の4コマ表示中に(W)ボタンを押すと9コマ表示に、もう1回押すと1コマ再生モードに切り換わります。 • 9コマ表示中に(T)ボタンを押すと4コマ表示に、もう1回押すと1コマ再生に切り換わります。
選択した画像を削除する		ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して、「いいえ」または「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。 • いいえ： 画像は削除されずに再生モードに戻ります。 • はい： 画像が削除されます。
パソコンに転送する画像を選択する		撮影された画像に(転送)マークをつけたり、消したりすることで、パソコンに転送する画像をあらかじめ選択することができます（61）。

画像を拡大する(拡大表示)

1コマ再生モード（38）時に(T)ボタンを押すと、表示された画像を最大約6倍まで拡大表示できます。

機能	ボタン	内容
画像を拡大表示する	W T	• (T)ボタンを押すごとに、最大約6倍まで画像を拡大します。 • 拡大表示中は、アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する		マルチセレクターの▲/▼/◀/▶を押すと,画像をスクロールさせて見たい部分を表示することができます。
拡大表示を解除する	W T	拡大表示中に(W)ボタンを押すと、拡大表示をキャンセルして1コマ再生モードに戻ります。

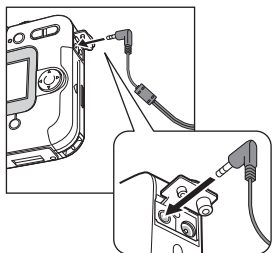
拡大表示モードについて

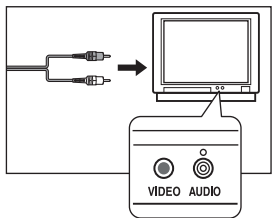
拡大表示の状態から他の前後の画像を表示する場合は､いったん拡大表示モードを終了してから画像の表示を切り換えてください。

音声メモを録音／再生する

マークがついている画像を再生してマルチセレクターの▼を押している間、カメラのマイクを使用して音声メモを録音することができます。音声メモは音声ファイル（.wav）としてCFカードに記録され、音声が録音された画像には♪マークがつきます。
音声メモの録音は撮影直後に行うこともできます（54）。

機能	ボタン	内容
録音する		マルチセレクターの▼を押している間、最長約15秒の音声メモを録音できます。▼から指を離すか、約15秒経過すると録音が終了します。録音中は液晶モニタに録音可能な時間がカウントダウン表示されます。 録音中です 残り 15 s • 録音できる画像にはがついています。 • 録音中はマイクに触れないようにご注意ください。
再生する		♪がついた画像を表示してマルチセレクターの▼を押すと、音声メモをカメラのスピーカーで再生することができます。録音内容が終了すると再生を停止します。 • 再生中は♪の♪が点滅します。
音声メモ/画像を削除する	MENU	♪がついた画像を表示して🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲/▼を押して項目を選択し、▶を押すと選択が実行されます。 削除 削除します よろしいですか？ いいえ ♪ はい SET • いいえ：音声メモと画像は削除されません。 • ♪：音声メモのみが削除されます。 • はい：音声メモと画像が削除されます。

テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブルEG-CP12 (以下AVケーブル) を使用して、撮影された画像をテレビで再生することができます。

1 カメラの電源を**OFF**にして、**AV**ケーブルをカメラに接続します。

- 端子カバーを開け、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。
- 接続する前にビデオ出力方式（95）を確認してください。初期設定は、NTSCです。

2 **AV**ケーブルを映像機器に接続します。

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像機器の映像入力端子に、白色のプラグを映像機器の音声入力端子にそれぞれ接続します。

3 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

4 ▶ ボタンを **2** 秒以上押して、**1** コマ再生モードでカメラの電源を**ON**にします。

- ▶ ボタンを2秒以上押し続けると、カメラの電源がONになり、直接1コマ再生モードに入ります。
- テレビには撮影された画像が表示され、カメラの液晶モニタは消灯します。

オートパワーオフについてのご注意

オートパワーオフが作動すると、カメラの電源が自動的にOFFになり、テレビへの出力が停止し、テレビに画像が表示されなくなります。テレビで長時間再生する場合は、ACアダプタEH-61をご使用ください。ACアダプタ接続中はオートパワーオフが30分間に固定されます（95）。

パソコンで再生する

Nikon View(付属のアプリケーションソフト)がインストールされたパソコンとCOOL-STATION MV-10を専用のUSBケーブルUC-E7で接続し、カメラをセットすると撮影した画像を簡単にパソコンに転送することができます。

COOL-STATIONをパソコンに接続するときのご注意

COOL-STATIONをパソコンに接続する前に、必ずNikon Viewをインストールしてください。Nikon Viewのインストール方法の詳細については、付属のクイックスタートガイドおよびNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

1. カメラとパソコンを接続する前に

カメラからパソコンへ画像を転送するには2つの方法があります。

- COOL-STATIONの ボタンを使用する方法
- Nikon Viewの ボタンを使用する方法

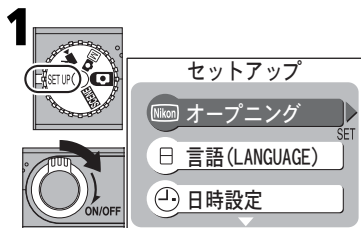
どちらの方法を使用するかは、ご使用のパソコンのOS(オペレーティングシステム)およびカメラとパソコンの通信方式の組み合わせで決まります。通信方式は以下の表を参考にして、セットアップメニューの「USB」で設定してください。初期設定は**Mass Storage**に設定されています。

OS	COOL-STATIONの ボタン	Nikon Viewの ボタン
	USB通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**Mass Storage** または**PTP**	**Mass Storage** または**PTP**
Mac OS X (10.1.3以降)	**PTP**	**Mass Storage** または**PTP**
Mac OS X 10.1.2	— *	
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)/98 Mac OS 9 (9.0～9.2)	**Mass Storage**	**Mass Storage**

* Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、COOL-STATIONの ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、カメラの電源をONにしてNikon Viewの ボタンを使用してください（63）。

5 いろいろな再生

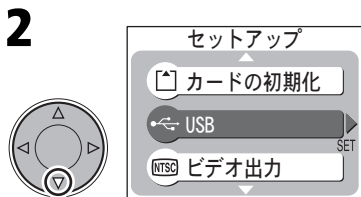
USB 通信方式を設定します。

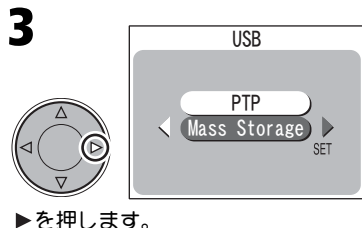
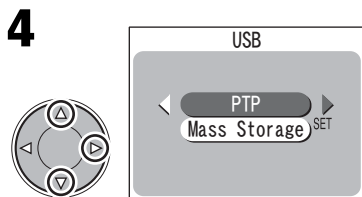
1

モードダイヤルをSET UPにセットし、電源を**ON**にします。

- セットアップメニュー画面が表示されます。

3

▶を押します。

2

マルチセレクターの▼を押して「**USB**」を選択します。

4

▲または▼を押して「**PTP**」または「**Mass Storage**」を選択し、▶を押します。

Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98SE/98、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

ご使用のパソコンのOSが上記の場合には、セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しないでください。（初期設定は、“Mass Storage”となっています）。
「USB」を“PTP”で設定して、上記OSのパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。
再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を“Mass Storage”に変更した後、パソコンと接続してください。

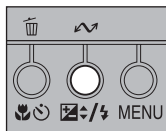
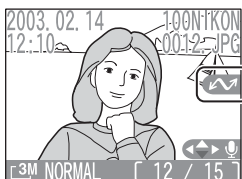
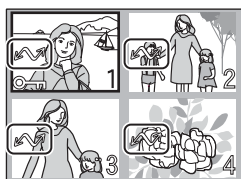
Windows 2000 Professionalの場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Meの場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SE/98の場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Mac OS 9（9.0〜9.2）の場合：
「USB装置“Nikon Digital Camera SQ_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

パソコンに転送する画像を選択するには

画像の再生時にカメラの（転送設定）ボタンを押すと、パソコンに転送したい画像を選択したり、すでに設定された転送設定を解除したりすることができます。

（転送設定）ボタン

1コマ再生モード

サムネイルモード

- COOLPIX SQでは、撮影されたすべての画像が自動的に転送設定され、マークが表示されます。転送しない画像は、選択してカメラの（転送設定）ボタンを押し、画像のマークの表示を消してください。転送設定されていない画像を選択してボタンを押すと、転送設定されてマークが表示されます。
- 撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像の転送設定を解除するかを設定できます（89）。

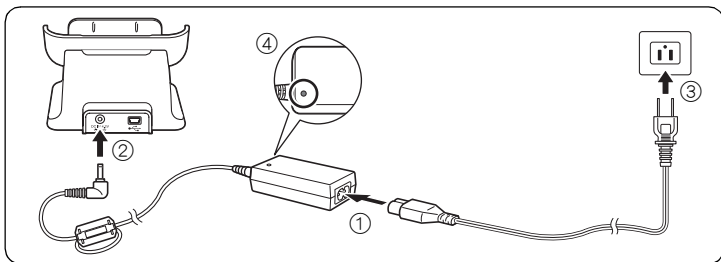
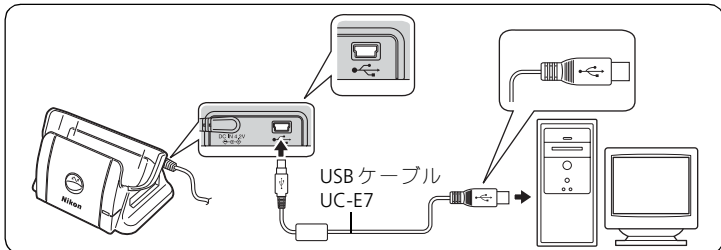
USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2. カメラとCOOL-STATIONをパソコンに接続する

1 パソコンを起動します。

2 **COOL-STATION**と**AC**アダプタを接続します。

• 電源プラグをコンセントに差し込むと、ACアダプタの電源ランプが点灯します(④)。

3 専用**USB**ケーブル**UC-E7**で**COOL-STATION**とパソコンを接続します。

4 カメラの電源を**OFF**にして、**COOL-STATION**にセットします。

①カメラの電源がOFFになっていることを確認します。

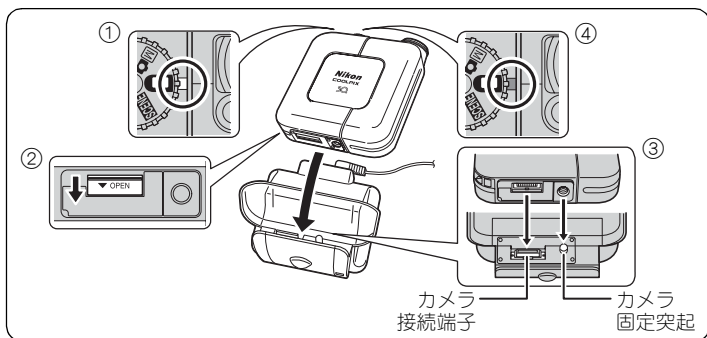
カメラをCOOL-STATIONにセットする前に、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

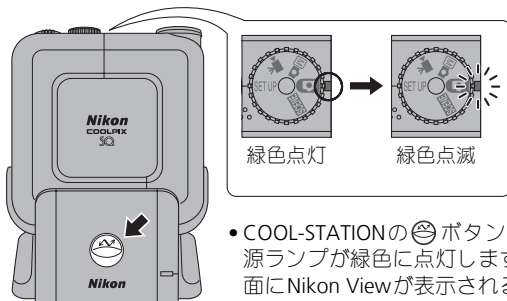
②カメラのCOOL-STATION接続端子カバーを開けます。

③カメラをCOOL-STATIONにセットします。

• カメラの接続端子と三脚ネジ穴を COOL-STATION の接続端子とカメラ固定突起に合わせて、最後までしっかりと差し込んでください。

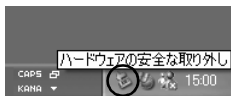
④カメラの電源ランプが赤く点滅／点灯します。

カメラの電源ランプが消灯している場合は、正しくセットされていません。再度正しくセットし直してください（23）。

3. 画像を転送する

1 **COOL-STATIONの ボタンを押して、画像を転送します。**

- COOL-STATIONの ボタンを押すと、カメラの電源ランプが緑色に点灯します。パソコンのモニタ画面にNikon Viewが表示されると、電源ランプが緑色点灯から緑色点滅にかわります。
- COOL-STATIONの ボタンで画像を転送する場合は、 マークのついた画像が転送されます。
- Mac OS Xのバージョン10.1.2をご使用の場合は、COOL-STATIONの ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、カメラの電源をONにしてNikon Viewの ボタンを使用してください。詳しくはNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）およびクイックスタートガイドをご覧ください。

4. カメラとパソコンの接続を外す

カメラの電源ランプが緑色に点灯したら、転送は終了です。
COOL-STATIONにセットされたカメラとパソコンの接続を外す方法は、USB通信方式の設定によって異なります。

- **USB通信方式を「PTP」に設定した場合**(59)**：**
  接続を終了するには、カメラの電源をOFFにしてください。
- **USB通信方式を初期設定の「Mass Storage」から変更していない場合：**
  接続を終了するには、必ず次の操作をしてからカメラの電源をOFFにしてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)を安全に取り外します」を選択してください。

Windows 2000 Professional の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)を停止します」を選択してください。

Windows Millennium Edition (Me) の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USBディスクードライブ(E:)の停止」を選択してください。

Windows 98SE/98 の場合：
マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

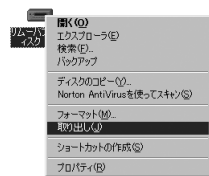
※「ドライブ（E:）」のEは、ご使用のパソコンによって異なります。

Mac OSX

Mac OS9

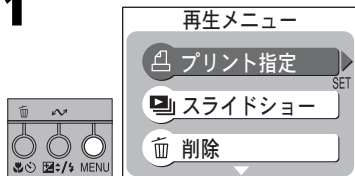
Mac OS X の場合：
デスクトップ上の「NO_NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

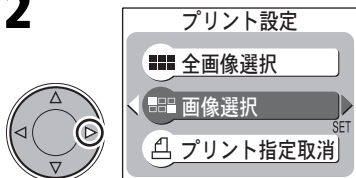
Mac OS 9 の場合：
デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

- カメラの電源をOFFにすると、カメラの電源ランプが緑色点灯から赤色点滅に変わり、充電を開始します。充電が完了している場合は、赤色に点灯します。

画像をプリントする(DPOFプリント設定)

CFカードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントして楽しむことができます。再生メニューの「プリント指定」でプリント枚数、日付などを設定したCFカードを、デジタルプリントサービス取扱店に持ち込むか、または家庭用のDPOF対応のプリンタのカードスロットに装着することにより、指定通りにプリントすることができます。

「プリント指定」メニューの設定方法は次のとおりです。

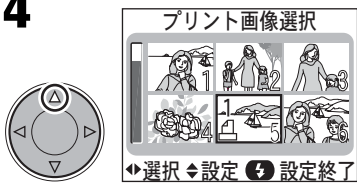
1

画像の再生時に**MENU**ボタンを押して、再生メニューを表示します。
▲または▼を押して、「プリント指定」を選択します。

2

▶を押すと「プリント指定」メニューが表示されます。

- すべての画像を1枚ずつプリントしたい場合は、「**全画像選択**」を選択して▶を押します。次に手順6に進みます。
- プリントする画像を選択したい場合は、「**画像選択**」を選択して▶を押します。
- 「**プリント指定取消**」を選択すると、すべてのプリント指定を取り消して、再生メニューに戻ります。

3

◀または▶を押して、画像を選択します。

4

▲を押して、プリント指定を設定します。

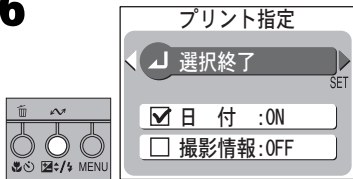
- 設定された画像には1(枚数)と🖨アイコンが表示されます。

5
いろいろな再生

5

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- ▲を押すとプリント枚数は増加し（最高9枚）、▼を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が1のときに▼を押します。
- 3～5の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU**ボタンを押してください。

6

ボタンを押すと画像の選択が完了し、プリント指定のメニューが表示されます。「全画像選択」を選択した場合は直接この画面に入ります。必要に応じて、▲または▼を押してプリント上に印字する情報を選択します。

- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して▶を押します。「日付」の前の□に✓が入ります。
- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは、「撮影情報」を選択して▶を押します。「撮影情報」の前の□に✓が入ります。
- 選択した項目のチェックを外すときは、その項目を選んで▶を押します。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、▲または▼を押して「選択終了」を選んで、▶を押します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU**ボタンを押してください。

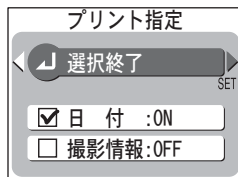
DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

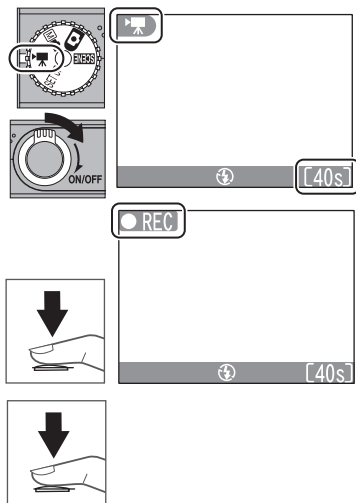
DPOFはデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、画像情報、日付の情報をCFカードに記録するためのフォーマットです。プリント時には、デジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンタがDPOFに対応しているか、あらかじめご確認ください。

プリント指定のリセット

プリント指定をセットした後、再度「プリント指定」メニュー（手順6の画面）を表示すると､「日付」「撮影情報」の設定はリセットされますので､再度設定を行ってください。

日付のプリントについて

プリントされる日付は､撮影時点でのカメラに設定されている日時です。撮影前に「日時設定」が正しく設定されているかご確認ください（28）。撮影後に「日時設定」を変更してもプリントされる日付には反映されません。
また、DPOFの日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することはできません。

動画を撮影する

モードでは、最長40秒の動画（音声付、画像サイズ320×240、15フレーム/秒）を撮影できます。

1 モードダイヤルをにセットし、カメラの電源を**ON**にします。

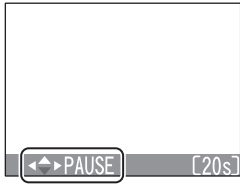
- 液晶モニタにアイコンと、動画撮影可能時間が表示されます。

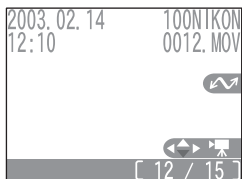
2 シャッターボタンを深く押し込むと、動画の撮影が開始されます。

- 撮影中は液晶モニタに ●REC マークが点滅します。

3 シャッターボタンをもう一度深く押し込むと、動画の撮影を終了します。

- 撮影開始後40秒経過するか、CFカードの記録容量がなくなると自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- レンズを液晶モニタ側に向けたままでの動画撮影はできません。ただし動画撮影中にレンズを液晶モニタ側に向けると、撮影はできますが、画像の上下が逆になります。
- 動画モードが選択されているときは、スピードライトは発光しません。また、マクロモード、セルフタイマーおよび露出補正は設定できません。
- 動画撮影中は、電子ズームのみ作動し、約4倍まで拡大することができます。光学ズームは使用できません。
- AFモードがシングルAF(初期設定)にセットされている場合は、シャッターボタンを押したときのピントに固定されます（81）。
- 動画の拡大表示はできません（56）。
- 動画モードには、メニューはありません。
- 動画ファイル形式は、Quick Timeムービー(ファイル拡張子「.MOV」)で記録されます。
- 撮影中はマイクに触れないようにご注意ください。なお、撮影中に操作音が録音される場合があります。

動画を再生する

1コマ再生モードで動画を音声と同時に再生することができます。動画の画像には動画であることを示す📽アイコンが表示されます。音声はスピーカーで再生されます。

動画再生はマルチセレクターで行います。

機 能	ボタン	内 容
再生を開始する	▽	マルチセレクターの▼を押すと、動画の再生を開始します。再生が終了すると、最後のフレームが約1秒表示され、続いて最初のフレームが表示されます。
再生を一時停止／再開する	▽	動画の再生中にマルチセレクターの▼を押すと、動画は一時停止します。もう一度押すと再開します。 PAUSE [20s]
一時停止中に1 フレーム送る	◁ ▷	動画を一時停止している状態でマルチセレクターの▶を押すと1フレーム次の画像をコマ送りで表示します。◀を押すと1 フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
再生を終了する	◁ ▷	動画の再生中にマルチセレクターの▶または◀を押すと、動画の再生を終了して、▶の場合は次の画像を、◀の場合は前の画像を表示します。

撮影メニュー一覧

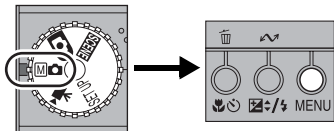
撮影メニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内 容	モードダイヤル	
画質モード	画像をCFカードに記録するときの圧縮率を3種類の中から選択します。	・	73
画像サイズ	画像をCFカードに記録するときのサイズを4種類の中から選択します。	・	73
ホワイトバランス	照明に合わせて、ホワイトバランスを選択します。		75
測光方式	構図や光の状況に適した測光方式を選択します。		77
連写	撮影方法を1コマ撮影または2種類の連続撮影モードから選択します。		78
BSS	BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響が最も少ない画像を自動的に選択して記録する機能）を設定します。		79
AFエリア選択	ピントを合わせるAFエリアを選択します。		80
AFモード	オートフォーカスの動作方式を選択します。		81

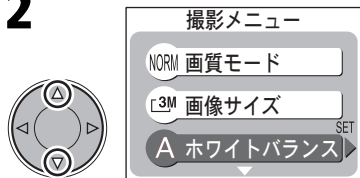
撮影メニューについて

- （オート撮影）モード・（マニュアル撮影）モードでは、MENU ボタンを押すと、撮影メニューが表示されます。
- （動画）モードでは、撮影メニューは表示されません。

撮影メニュー画面の操作方法

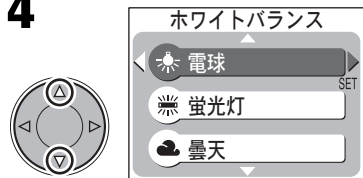
1

モードダイヤルを📷またはM📷にセットして、**MENU**ボタンを押します。

- 撮影メニュー画面が表示されます。

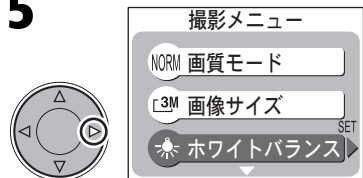
2

マルチセレクターの▲または▼を押して、セットしたいメニュー項目を選択します。

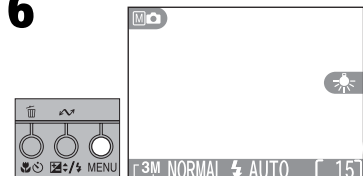
3

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細設定の画面に切り換わります。

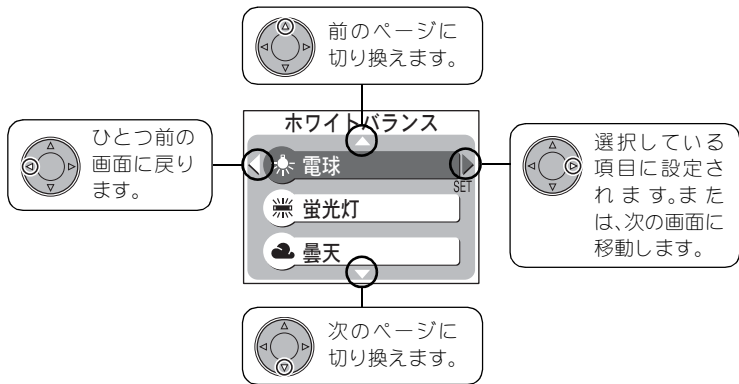
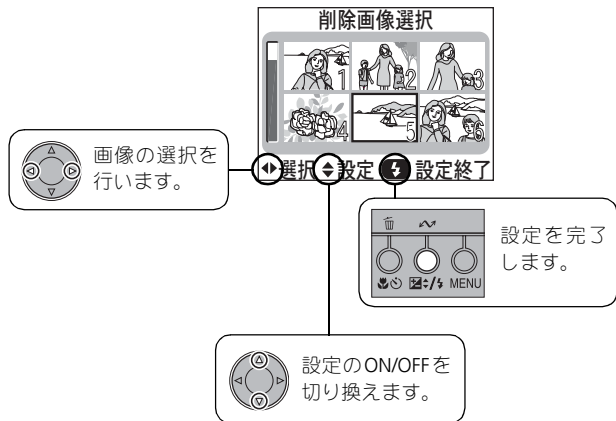
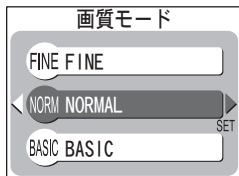
4

▲または▼を押して、セットしたい項目を選択します。

- 1つ前の画面に戻るには、◀を押します。

5

▶を押すと、選択したメニューが設定されます。

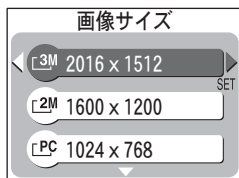
6

MENUボタンを押して、メニュー画面を終了します。

メニュー画面の操作ガイド

撮影・再生・セットアップメニュー画面に表示される矢印（△／▽／◁／▷）は、マルチセレクターの▲／▼／◀／▶に対応しています。

再生・セットアップメニュー画面に表示される矢印（△／▽／◁／▷）は、マルチセレクターの▲／▼／◀／▶に、⚡は⊠/⚡ボタンに対応しています。

画質モード （）

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。
COOLPIX SQは、画像をJPEG形式で圧縮して記録します。

- 画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、CF カードに記録できる画像コマ数は増加しますが、画質が低下し、画像の細かい部分の再現性は低下していきます。
- 圧縮率を低くすると、画像ファイルの容量が大きくなるため、CFカードに記録できる画像コマ数は減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

設 定	圧縮率	内 容
FINE	約1/4	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。
NORMAL	約1/8	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合に適しています。
BASIC	約1/16	電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。

画像サイズ （・）

４種類の画像サイズ（単位：ピクセル）から選択できます。

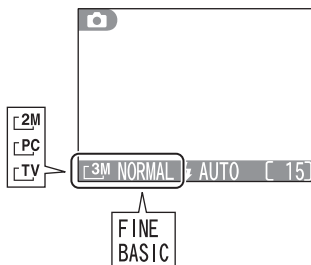
- 画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、CFカードに記録できる画像数が減少しますが、大きくプリントするときに適しています。
- 画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなり、電子メールで送る場合やホームページ用に適した画像になります。ただし、小さい画像サイズで大きくプリントしようとすると、粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります。

CFカードの容量や撮影の状況に応じて画像サイズを選択してください。

設 定	サイズ (pixel)	プリント時のサイズ (画像解像度を300dpiに設定した場合)
3M	2016×1512	約17×13cm
2M	1600×1200	約13×10cm
PC	1024×768	約9×7cm
TV	640×480	約5×4cm

*プリントサイズ ＝ ピクセル数 ÷ プリンタ解像度(dpi) × 2.54cm

画質モード表示と画像サイズ表示

設定した画質モードと画像サイズは、右図のように液晶モニタに表示されます。

撮影可能コマ数

撮影された画像ファイルの大きさは、画質モードと画像サイズで決まります。そのため、CFカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。16MB、64MBのCFカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです（JPEG圧縮の性質上、撮影コマ数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

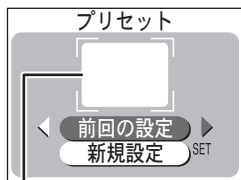
		画像サイズ			
	画質モード	3M	2M	PC	TV
16MB CFカード	FINE	約9	約14	約33	約77
	NORMAL	約17	約27	約62	約131
	BASIC	約34	約52	約109	約203
64MB CFカード	FINE	約37	約58	約136	約311
	NORMAL	約72	約112	約253	約532
	BASIC	約140	約212	約444	約823

ホワイトバランス

人間の目では、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。これに対してデジタルカメラでは、照明光の色に合わせて白色の調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせるといいます。

- オート(**A**)で意図通りのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、他のホワイトバランスにセットしてください。

設 定	内 容
A オート	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（👁76）。
太陽光	太陽光での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。

● プリセットホワイトバランスについて

ホワイトバランス測定窓

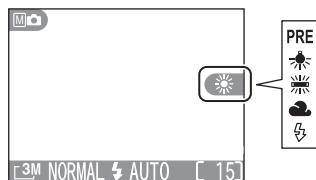
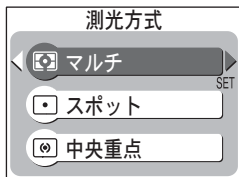
プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します(赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など)。

•「ホワイトバランス」メニューからプリセット(PRE)を選択すると、液晶モニタに左図のプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設 定	内 容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、「新規設定」を選択して、マルチセレクターの▶を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中はシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

ホワイトバランス表示

ホワイトバランスをオート(**A**)以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。

測光方式　（M📷 のみ）

構図や光の状況に合わせて、3つの測光方式から選択します。

設 定	用 途
マルチ	さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチ測光になります。通常の撮影では、マルチ測光をおすすめします。
スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。被写体をスポット測光範囲に入るようにして撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF(AE)ロック（37）を使用してください。
中央重点	画面に表示されている中央重点測光範囲で測光します。ポートレート撮影など重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、AF(AE)ロック（37）を使用してください。

測光方式についてのご注意

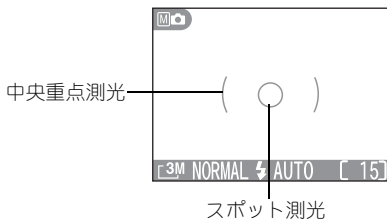
- 電子ズーム作動中は自動的に中央重点測光相当になります。ただし、測光範囲は表示されません。
- レンズを液晶モニタ側に向けて撮影を行う場合は、測光方式をスポットまたは中央重点に設定していても、自動的にマルチになります。

測光範囲

スポットまたは中央重点に設定すると、設定した測光範囲が液晶モニタに表示されます。

連写

（M📷 のみ）

連　写
S 単写
SET
連写
マルチ連写

撮影状況に合わせて1コマ撮影または2種類の連続撮影から選択します。

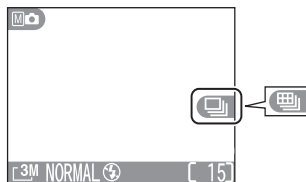
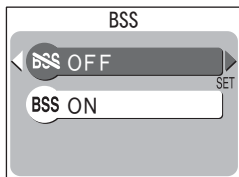
設 定	内 容
S 単写	シャッターボタンを深く押し込むと、1コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、約1.5コマ/秒で連続撮影できます（画質モードがNORMAL、画像サイズが3M(2016 × 1512)の画像を連続で約7コマ撮影できます。ただし、⌛マークが液晶モニタに表示された場合、連続撮影速度は遅くなります。）。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、最高約5コマ/秒で1度に連続して16コマの連続撮影を行います。512×384ピクセルの16コマの画像は、4×4コマに並べられて、1つの画像（2048×1536ピクセル）として保存されます。 マルチ連写は、画像サイズが3Mのときのみ設定できます。

連写・マルチ連写設定時のご注意

- 「連写」または「マルチ連写」で撮影を行った場合は、スピードライトは自動的に発光禁止になり、オートフォーカス、露出、オートホワイトバランスは1コマ目の条件に固定されます。
- 「連写」または「マルチ連写」に設定しているときに「BSS」をONに設定すると、自動的に「単写」にかわります。

連写・マルチ連写表示

「連写」または「マルチ連写」に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

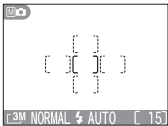
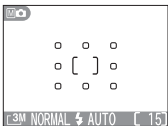
BSS　（M📷 のみ）

BSSとは「ベストショットセレクタ」（Best Shot Selector）のことで、シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像のうちカメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選んで、CFカードに記録する機能です。

BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

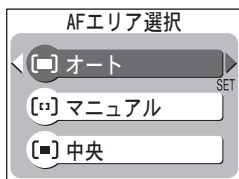
- 望遠側にズーミングしている場合
- マクロ撮影時
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合

設 定	内 容
BSS OFF	BSSをセットしません。
BSS ON	BSSをセットします。スピードライトは自動的に発光禁止になり、フォーカス、露出、オートホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。

BSSについてのご注意

- BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。
- BSSは、連写モードの「単写」に設定時のみONに設定できます。BSSをONに設定しているときに「連写」または「マルチ連写」を設定すると、BSSは自動的にOFFになります。

BSS表示

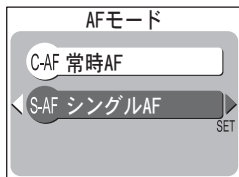
BSSがONに設定されていると、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

AFエリア選択 （M📷のみ）

ピント合わせに使用するAFエリアの選択方法を設定します。

設定	内容
オート	5つのAFエリアのいずれかに重なる被写体のうち、自動的に最もカメラに近い被写体を選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択したAFエリアが液晶モニタに表示されます。不規則に動き回る被写体の撮影やピント合わせに時間をかけられない場合などに使用します。
マニュアル	液晶モニタに表示された9つのAFエリアから、撮影者が選択したAFエリアだけを使用してピントを合わせます。AFエリアは、マルチセレクターを上下左右に押して選択します。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合や、AFロック（37）を使用しないでピント合わせを行いたい場合に適しています。
中央	中央のAFエリアのみを使用してピントを合わせます。AFロック（37）を使用してピント合わせを行いたい場合に便利です。

AFエリアについてのご注意

電子ズーム作動中およびレンズを液晶モニタ側に向けて撮影を行う場合は、自動的に中央になります。ただし、AFエリアは表示されません。

AFモード （M📷 のみ）

オートフォーカスの動作方式を設定します。

設 定	内 容
常時AF	シャッターボタンの操作にかかわらず、常にピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しするとピントを固定（AFロック）します。
シングルAF	シャッターボタンを半押ししている間のみピント合わせを行い、ピントが合うとピントを固定（AFロック）します。

📷 モードおよび🎥モードについて

- 📷 モードは自動的にシングルAFとなります。
- 🎥モードは初期設定ではシングル AF となりますが、M📷 モードで常時 AF モードにセットすると、🎥モードでも常時AFとなります。

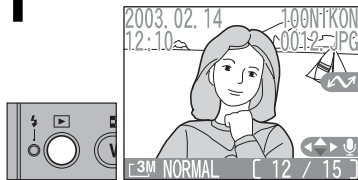
7 撮影メニュー

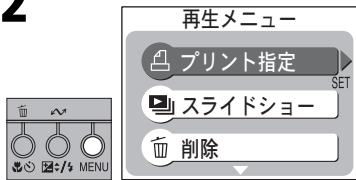
再生メニュー一覧

再生メニューでは、以下の項目が設定できます。

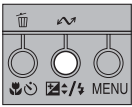
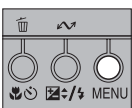
メニュー項目	内 容	👁
プリント指定	DPOF対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付を設定します。	65
スライドショー	CFカードに記録されている画像を順番に自動再生します。	83
削除	全画像、または選択した画像を削除します。	84
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。	86
Small Pic	撮影した画像の画像サイズを小さくして別の画像を作成します。また、作成する画像のサイズを選択します。	87
転送マーク設定	撮影した全画像を転送設定する、または全画像の転送設定を解除します。	89
カードの初期化	CFカードを初期化します。	90

再生メニュー画面の操作方法

1

▶ ボタンを押して、**1**コマ再生モードにします。

2

MENUボタンを押します。

- 再生メニューが表示されます。
- マルチセレクターの▲または▼を押して、セットしたいメニュー項目を選択します。
- メニュー画面の詳しい操作方法については「撮影メニュー」（👁71）をご覧ください。

スライドショー

画像を約3秒間隔で順番に再生する、スライドショーを行います。

マルチセレクターの▶を押すと、スライドショーを開始します。

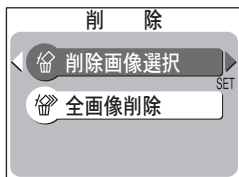
- すべての画像の表示を終えると、一時停止画面が表示されます。

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

機 能	ボタン	内 容
一時停止	🗑 ∿ ⚘🕐 ☒÷/ϟ MENU	スライドショーが一時停止し、画面上にメニューが表示されます。 スライドショー / 終　了 / 再　開 / SET • スライドショーを再開するには、マルチセレクターの▲または▼で「再開」を選択して、▶を押します。 • スライドショーを終了するには、▲または▼で「終了」を選択して▶を押します。
コマ送り／コマ戻し		マルチセレクターの▶を押すとコマ送りします。押し続けると早送りします。◀を押すとコマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
終了	🗑 ∿ ⚘🕐 ☒÷/ϟ MENU	スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

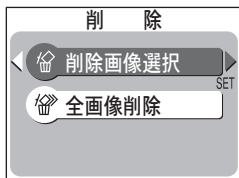
スライドショーについて

- 動画は先頭フレームが静止画で表示されます。
- スライドショーを開始して、カメラの操作を行わないまま30分経過すると、オートパワーオフ機能により自動的にカメラの電源がOFFになります。

削除

画像の削除方法を以下から選択できます。

設 定	内 容
削除画像選択	選択した画像を削除します。
全画像削除	CFカードに記録されているすべての画像を削除します。

● 選択画像の削除

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、「削除画像選択」を選択します。

2

▶を押すと、「削除選択画面」に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

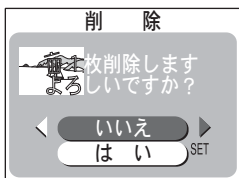
3

◀または▶を押して、画像を選択します。

4

▲または▼を押して、削除する画像を設定します。

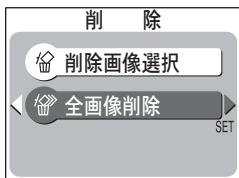
- 設定した画像には🗑が表示されます。
- 手順の3と4を繰り返して、削除する画像を選択します。
- 削除の設定を取り消すときは、🗑が表示された画像上で▲または▼を押して、🗑の表示を消してください。

5

⊠±/⚡ボタンを押して、削除設定を完了すると、削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」または「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

- いいえ　：　画像は削除されずに再生メニューに戻ります。
- はい　　：　選択した画像はすべて削除されます。

● 全画像の削除

CFカード内のすべての画像を削除します。

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、「全画像削除」を選択します。

2

▶を押すと、削除確認画面が表示されます。

- ▲または▼を押して「いいえ」または「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。
- いいえ　：　画像は削除されずに再生メニューに戻ります。
- はい　　：　CFカード内のすべての画像は削除されます。

画像の削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- O‒π が表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除できません（86）。

プロテクト設定

CFカードに記録されている画像を誤って削除しないように選択した画像にプロテクト（保護）設定します。

1

マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2

▲または▼を押して、プロテクトを設定します。

- プロテクト設定した画像にはO┳┳が表示されます。手順の1と2を繰り返して、プロテクトする画像を選択します。
- プロテクトを解除するときは、O┳┳が表示された画像上で▲または▼を押して、O┳┳の表示を消してください。

3

±◆/⚡ボタンを押して、プロテクト設定を完了します。

- 「プロテクト終了」と表示され、再生メニューに戻ります。
- 画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、**MENU**ボタンを押してください。

✔ プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定をした画像は1コマ再生モード、サムネイル再生モードで削除ができなくなります。ただし、CFカードを初期化するとプロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されますのでご注意ください。

スモールピクチャー

撮影した画像の画像サイズを小さくして、元の画像とは別に新しい画像を作成します。作成できる画像サイズは(1600 × 1200)、(1024 × 768)、(640×480)、(320×240)です。

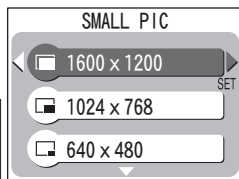
1

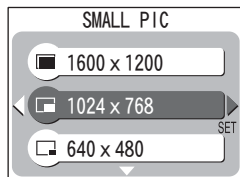
マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

2

▲または▼を押して、スモールピクチャーを設定します。

- 設定した画像には が表示されます。
- スモールピクチャーを設定できる画像は1回の設定で1画像のみです。

3

ボタンを押して、設定を完了すると、縮小する画像サイズの選択画面が表示されます。

4

▲または▼を押して、サイズを選択します。

- 元の画像より大きな画像サイズは選択できません。

5

▶を押して、スモールピクチャー画像を作成します。

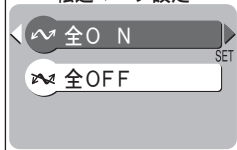
- 「終了」と表示され、再生メニュー画面に戻ります。
- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の後ろに表示されます。

スモールピクチャーについて

- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードと同じになりますが、手順4で画像サイズの320（320×240）を選択した場合のみ画質モードはBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。例：SSCN0015.JPG（ただし先頭文字「SSCN」はカメラの液晶モニタには表示されません。パソコンに画像を転送した場合のみ確認できます。）
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャーのご注意

- COOLPIX SQ以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。
- COOLPIX SQで作成されたスモールピクチャーをCOOLPIX SQ以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定はスモールピクチャーには反映されません。またスモールピクチャーのプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- 動画のスモールピクチャーは作成できません。

転送マーク設定

撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。

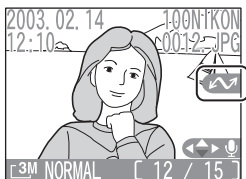
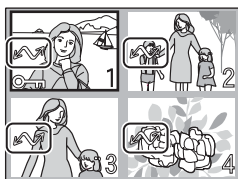
- Nikon Viewがインストールされたパソコンを専用USBケーブルUC-E7で接続したCOOL-STAIONにカメラをセットして、COOL-STAIONの ボタンを押すと、 マークのついた画像がパソコンに転送されます。ただし、Mac OS Xのバージョン10.1.2をご使用の場合は、COOL-STATIONの ボタンでは画像を転送できません（59）。

設 定	内 容
全ON	撮影した全画像を転送設定します。
全OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。

転送マーク設定についてのご注意

- 1枚のCFカードに転送設定できる画像は999コマまでです。999コマを超える画像を転送する場合はNikon Viewを使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳しくはNikon Viewのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。
- COOLPIX SQ以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したCFカードをCOOLPIX SQに挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX SQで再度転送設定をしてください。

転送設定

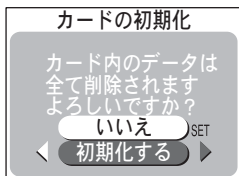
- COOLPIX SQでは、撮影されたすべての画像に自動的に転送設定され、 （転送）マークが表示されています。

1コマ再生モード

サムネイルモード

画像ごとに転送設定／解除するには

画像を再生時にカメラの ボタンを押すと、画像ごとに転送設定したり解除したりすることができます（61）。

カードの初期化

CFカードを初期化する場合に使用します。
CFカードを初めて使用する場合には、カードの初期化が必要です。

1

マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。

- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択して▶を押してください。

2

▶を押すと初期化が開始され、「カード初期化中」というメッセージが表示されます。

- 初期化が終了すると、メニュー画面に戻ります。

カード初期化についてのご注意

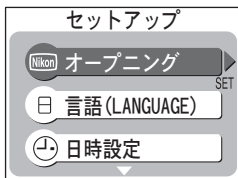
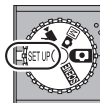
- 「**カード初期化中**」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーやCFカードを取り出したりしないでください。
- CF カードを初期化すると、プロテクト設定された画像を含む CF カード内のすべての画像が消去されます（86）。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

セットアップメニュー一覧

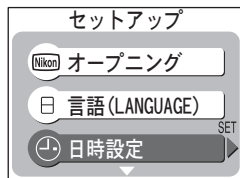
セットアップメニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内 容	👁
オープニング	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニタに表示される画面と再生されるサウンドを選択します。	92
言語（LANGUAGE）	カメラに表示する言語を選択します。	94
日時設定	日時を設定します。	28
画面の明るさ	液晶モニタの明るさを調整します。	94
音量設定	音声メモ再生時の音量などを調節します。	94
オートパワーオフ	操作を行わないとカメラの電源を自動的にOFFにするまでの時間を選択します。	95
カードの初期化	CFカードを初期化します。	90
USB	ご使用のパソコンのOSに合わせて、USB通信方式を選択します。	59
ビデオ出力	ビデオ出力方式を選択します。	95
設定クリア	カメラにセットされた各種設定を初期設定に戻します。	96

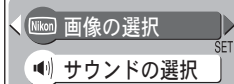
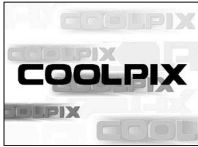
セットアップメニュー画面の操作方法

1

モードダイヤルをSET UPにセットします。

• セットアップメニュー画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、セットしたいメニュー項目を選択します。

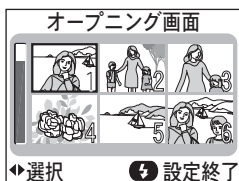
• メニュー画面の詳しい操作方法については、「撮影メニュー」（👁71）をご覧ください。

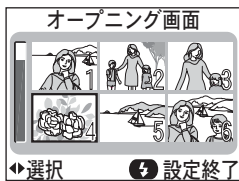
オープニング

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面と再生される音（サウンド）を選択します。

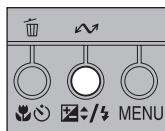
● 画像の選択

設定	内容
なし	カメラの電源をONにしても、オープニング画面は液晶モニタに表示されません。
COOLPIX 1	カメラの電源をONにしたときに、右のようなオープニング画面が液晶モニタに表示されます。
COOLPIX 2	カメラの電源をONにしたときに、右のようなオープニング画面が液晶モニタに表示されます。
画像の選択	オープニング画面を、CFカードに記録されているCOOLPIX SQで撮影した画像から選択することができます。

● 画像の選択について

1

「画像の選択」を選択して、▶を押すと、画像選択画面に切り換わります。

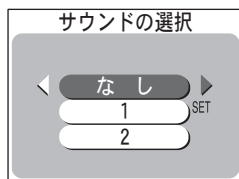
2

◀または▶を押して、画像を選択します。

3

ボタンを押して画像を登録します。

- 画像が登録されると、セットアップメニューに戻ります。
- 画像を登録しないでセットアップメニューに戻るには、**MENU**ボタンを押します。

「画像の選択」でオープニング画面を選択した場合には

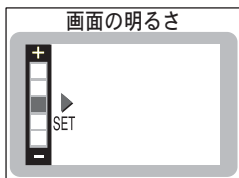
「画像の選択」でCFカードから登録された画面をCOOLPIX 1やCOOLPIX 2などの他の画面に切り換えると、登録された画面は自動的に削除されます。元の登録画面に戻す場合は、同じ画像の記録されたCFカードを再度挿入して選び直してください。

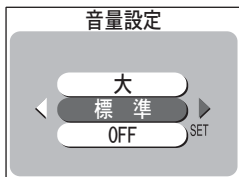
● サウンドの選択

カメラの電源をONにしたときに再生される音を「なし（音なし）」、「1」、「2」の3種類から選択します。

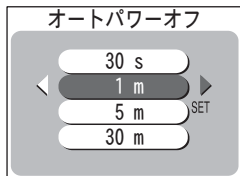
- オープニング画面を「なし」に設定している場合には、サウンドの選択は自動的に「なし」に設定され、「1」または「2」は選択できません。

言語(LANGUAGE)

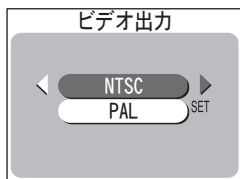
メニューやメッセージを表示する言語を選択します。日本語、Español（スペイン語）、Deutsch（ドイツ語）、English（英語）、Français（フランス語）のいずれかに切り換えることができます。

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを5段階に調整します。
画面上に表示される画像の明るさを目安にしながら、マルチセレクターの▲または▼を押して希望する明るさに調整します。明るさを選択した時点で設定されます。

音量設定

音声メモの再生時の音量や、オープニングの時のサウンドおよびシャッター音の音量を同時に調節します。

オートパワーオフ

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。初期設定では、バッテリーを使ってカメラを操作する場合、1分間(メニューが表示されているときは3分間)カメラの操作を行わないとカメラの電源がOFFになり、電源ランプが消灯します。ただし、ACアダプタEH-61を使用している場合は、30分間に固定されます。

• オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、30s（30秒）、1m（1分）、5m（5分）、30m（30分）のいずれかに設定できます。

ビデオ出力

テレビやビデオデッキなどの接続先の機器に合わせてビデオ出力方式を選択します（58）。

設 定	内 容
NTSC	NTSC方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL方式に設定します。欧州で使われている方式です。

C 設定クリア

カメラにセットされた各種設定を初期設定に戻します。

設 定	内 容
いいえ	設定をリセットしません。
はい	各種設定を初期設定にリセットします。

以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
シーンモード	ポートレート
ホワイトバランス	オート
測光方式	マルチ
連写	単写

設定項目	初期設定
BSS	OFF
AFエリア選択	オート
AFモード	シングルAF

- 設定クリアを行うとファイル名の連番はクリアされ、次の撮影からはCFカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番を開始します（39）。

ファイルの連番を0001にリセットしたいときは

ファイル名の連番を0001にリセットするときは、まずCFカード内の画像を全て削除する（85）か、CFカードを初期化（90）した後、設定クリアを行ってください。

別売アクセサリー／使用できるCFカード

COOLPIX SQには次の別売アクセサリーが用意されています。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-60
リチャージャブルバッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL2
ACアダプタ	ACアダプタEH-61
ソフトケース	ソフトケースCS-CP15
PCカードアダプタ	PCカードアダプタEC-AD1
COOL-STATION	MV-10
液晶モニタフード	LCDフードHL-CP10

使用できるCFカード（Type I）

付属のCFカードおよびニコンCFカードEC-CFシリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

- SanDisk製
  SDCFBシリーズ　32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
  SDCFHシリーズ　128MB、192 MB、256 MB、384 MB、512 MB
- LEXAR MEDIA製
  4X USBシリーズ　16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
  8X USBシリーズ　16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
  12X USBシリーズ　64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
  16X USBシリーズ　64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
  24X USBシリーズ　64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
  24X WA USBシリーズ　64 MB、128 MB、256 MB、512 MB
- 日立製（ルネサステクノロジ製）
  HB28BxxxC8xシリーズ　128 MB、256 MB、512 MB

その他のメーカーのCFカードについては動作の保証はいたしかねます。上記CFカードの詳細については、各社にご相談ください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭いたり、強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

※クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％を越える場所

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●三脚はカメラに直接取り付けてご利用ください

三脚を使用するときは、カメラの三脚ネジ穴に直接三脚を取り付けてご使用ください。

●バッテリーや AC アダプタを取り外すときは必ず電源 OFF の状態で行ってください

電源ONの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。
記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

バッテリーの取り扱いについて

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますのでご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●持ち運ぶときは端子カバーをつける

カメラから取り外したバッテリーを保管したり、持ち運ぶ場合は、必ず付属の端子カバーをつけてください。バッテリーがショートすると、液もれ、発熱、破裂の原因となり危険です。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーには一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が充分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

●リチャージャブルバッテリー **EN-EL2** のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったリチャージャブルバッテリーは、再利用しますので、廃棄せずにリサイクルにご協力ください。
＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから当社サービス部門やリサイクル協力店へご持参ください。

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原 因	対処方法	👁
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	28
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源を OFF にしてバッテリーを充電してください。	26
[ ] （AFエリアの赤色点滅） AF● （AF表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	34 37
	シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • スピードライトを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	40 44 — 32
カード記録中	• 画像の記録中に電源をOFFにしました。 • 画像の記録中に ▶ ボタンが押されました。	カードへの記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	35
カードが入っていません	カメラがCFカードを認識できません。	電源をOFFにして、CFカードが正しく挿入されていることを確認してください。	24
このカードは使用できません	CFカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みの CF カードをご使用ください。 • CFカードの端子部分が汚れていないかご確認ください。CFカードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。	97 24

液晶モニタの表示	原 因	対処方法	👁
カードに異常があります	CFカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのCFカードをご使用ください。 • CFカードの端子部分が汚れていないかご確認ください。CFカードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。	97 24
初期化されていません 初期化する いいえ ▷	CFカードが、COOLPIX SQ仕様に初期化されていません。	マルチセレクターの▲を押して、「初期化する」を選択し、▶を押してCFカードを初期化するか、電源をOFFにして、適切なCFカードに交換してください。	24 90
メモリー残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいCFカードを挿入してください。	73 39 84 24
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。（カメラをCOOL-STATIONにセットして、COOL-STATIONの ボタンを押した場合のみ）	不要な画像を削除し、再度COOL-STATIONの ボタンを押してください。	39 84
画像を登録できません	• CFカードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • ファイル番号のオーバーフローです。	• CFカードを再度初期化してください。 • 新しいCFカードに入れ換えるか、画像ファイルを削除してください。	90 24 39 84
撮影画像がありません	CFカードに撮影された画像が入っていません。	再生モード時：▶ボタンを押して撮影モードに切り換え、撮影してください。	30
このファイルは表示できません	パソコン、またはCOOLPIX SQ以外のカメラで作成したファイルです。	CFカードを再度初期化してください。	90

液晶モニタの表示	原 因	対処方法	
転送マーキングされた画像がありません	転送設定された画像がないときに COOL-STATIONのボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラをCOOL-STATIONから外し、少なくとも1枚以上の画像に転送設定をセットして、再度転送してください。	59〜64 89
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにして、バッテリーを取り出します。ACアダプタを使用している場合はACアダプタを外します。再度バッテリーを入れるか、ACアダプタを使用して電源をONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	20

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても直らない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス部門までお問い合わせください。

●デジタルカメラの特性について
きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにCFカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	👁
液晶モニタに何も写らない	• カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 • バッテリーの残量がありません。 • ACアダプタEH-61が正しく接続されていません。 • カメラがCOOL-STATIONに接続されています。 • AVケーブルが接続されています。	26 20 26 21 — 58
カメラの電源が突然切れる	• バッテリーの残量がありません。 • バッテリーの温度が低すぎます。	26 100
再生時に液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 画像情報は5秒経過すると自動的に非表示になります。マルチセレクターの▲を押して再表示させてください。 • スライドショーが行われています。	15 83
液晶モニタの画面がよく見えない	• 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。	94 98
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • スピードライトランプが点滅しています：スピードライトの充電中です。 • 液晶モニタに「初期化されていません」というメッセージが表示されます：CFカードがCOOLPIX SQ用に初期化されていません。 • 液晶モニタに「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます：CFカードに画像を記録する空き容量がありません。	38 26 34 90 102 31 102

こんな時は	ここをご確認ください	
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。	40 32 41 45
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	45
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。AF ロックを使用して撮影してください。	36 37
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 －スピードライトを使用してください。 －BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 －三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	40 79 43
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。 ※シーンモードの（夜景ポートレート）、（夜景）、（トワイライト）がセットされている場合は、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。	40 47
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： －シーンモードで（スポーツ）、（風景）、（夕焼け）、（トワイライト）、（クローズアップ）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（モノクロコピー）、（パノラマ）がセットされている場合 －モードダイヤルが（動画）モードにセットされている場合 －M モードで連写またはマルチ連写が選択されている場合 －M モードでBSSがONになっている場合 • バッテリー残量が少なくなっています。	40 48 ～ 52 68 78 79 26
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	75
MENU ボタンを押してもメニューが表示されない	• モードダイヤルが（動画）モードにセットされています。	68

こんな時は	ここをご確認ください	👁
画像を再生できない	• パソコンかCOOLPIX SQ以外のカメラで作成された画像です。CFカードを初期化してください。	90
カメラをテレビに接続しても、テレビに画面が映らない	• AVケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていません。または「ビデオ」の入力系統（番号）が間違っています。 • カメラの「ビデオ出力」の設定が合っていません。	58 58 95
スモールピクチャーを作成できない	• 表示画像が動画です。スモールピクチャーは静止画像からのみ作成できます。	87
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。	69
カメラを**COOL-STATION**に接続時、または**CF**カードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、**Nikon View**が自動的に起動しない	• COOL-STATIONの ボタンが押されていないか、カメラの電源がOFFになっています。 • ACアダプタEH-61が正しく接続されていません。 • カメラが COOL-STATION に正しく接続されていないか、USBケーブルが正しく接続されていません。またはCFカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • ご使用のパソコンのOSがWindows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9の場合にセットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しています。 Nikon ViewについてはNikon Viewリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	63 26 62 — 59 60
カメラを**COOL-STATION**に接続して ボタンを押したときに、カメラの電源ランプが緑色の早い点滅になる	• パソコンに画像転送中、COOL-STATIONからカメラが外れたり、USBケーブルの接続が外れました。 パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックしてNikon Viewを終了してください。カメラの電源がOFFの状態で、COOL-STATIONにカメラをセットし直すか、USBケーブルを再接続して、再度COOL-STATIONの ボタンを押して、画像を転送してください。 • ご使用のパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、COOL-STATIONの ボタンは使用できません。 カメラの電源がOFFの状態で、いったんCOOL-STATIONから外してUSB通信方式を変更し直した後、COOL-STATIONに再度セットしてください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、Nikon Viewの転送ボタンをご使用ください。 • 画像転送中にエラーが発生しました。 カメラ、COOL-STATIONおよびパソコンが正しく接続されていること、およびACアダプタEH-61が正しく接続されていることを確認してください。	62 59 62 63 26 62

主な仕様

■ニコンデジタルカメラCOOLPIX SQ

型 式		ニコンデジタルカメラSQ
有効画素数		3.1メガピクセル
撮像素子		1/2.7型原色CCD、総画素数3.34メガピクセル
画像サイズ（pixel）		• 2016×1512（3M） • 1600×1200（2M） • 1024×768（PC） • 640×480（TV）
レンズ		3倍ズームニッコールレンズ、f=5.6～16.8mm（35mm判換算37～111mm）、F2.7～F4.8（6群7枚）
レンズ部可動範囲		前方に最大120°まで、後方（液晶モニタ側）に最大90°まで回転可能
電子ズーム		最大4倍
オートフォーカス		コントラスト検出方式、マルチエリアオートフォーカス可能
撮影距離		レンズ前約30cm～∞ （マクロモード時は約4cm（ズームのミドルポジション）～∞）
AFエリア		5カ所自動選択/9カ所手動選択切り換え可能
液晶モニタ		1.5型低温ポリシリコンTFT反射透過併用型液晶、117,600画素、輝度調節機能付き（5段階）、アドバンストブライトネスコントロール機能
視野率（撮影時）		上下左右とも約97％（対実画面）
記録形式	記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type Ⅰ）
	画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF）、Exif2.2準拠、Digital Print Order Format（DPOF）準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 FINE (約1/4)、NORMAL (約1/8)、BASIC (約1/16) 動画：QuickTime
露 出	測光方式	マルチ測光、中央部重点測光、スポット測光
	露出制御	プログラムオート 露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード		2～1/2000秒
絞 り		電磁駆動による開口選択方式

制御段数		2（F2.7、F5.4［広角側］）
撮像感度		ISO70相当、オートゲインアップ機能あり（最大ISO200相当）
セルフタイマー		10秒、3秒から選択可能
内蔵スピードライト	調光範囲	約0.3※～約5.0m（広角側） 約0.3※～約3.7m（望遠側） ※マクロモードでズーム位置がミドル域の場合、約0.15m
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		COOL-STATION接続端子
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		DC入力端子、オーディオビデオ（A/V）出力端子
電 源		• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL2（付属）1個使用 • ACアダプタEH-61（付属）
連続撮影時間		約65分（EN-EL2使用時） ※測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のスピードライト撮影、3M、NORMALモード）によります。
大きさ		約82（W）×82（H）×25.5（D）mm
質量（重さ）		約180g（バッテリー、コンパクトフラッシュカード除く）
動作環境	温 度	0～40℃
	湿 度	85%以下（結露しないこと）

Design rule for Camera File system（DCF）について

COOLPIX SQは、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif Version 2.2について

COOLPIX SQは、Exif Version 2.2に対応しています。Exif Version 2.2は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供することができます。プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

■COOL-STATION MV-10

適応カメラ	ニコンデジタルカメラCOOLPIX SQ
充電時間	約２時間
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL2
入出力端子	• DC入力 • USB
インターフェース	カメラ接続端子 Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL2充電端子
使用温度	0～40℃
寸 法	89（W）×51（H）×75（D）mm
質量（重さ）	約93g

■ACアダプタ EH-61

入力定格	AC100－240V（50/60Hz） 0.1－0.18A
定格入力容量	15－19VA
定格出力	DC4.2V/1.5A
使用温度	0～40℃
寸 法	約39（W）×21（H）×77（D）mm
コード長	約1800ｍｍ
質量（重さ）	約130g （電源コードを除く）

仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL2をフル充電で使用時のものです。

索引

英数・マーク

ア

カ

付録 10

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

● お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部
〒 **140-8601**
東京都品川区西大井 **1-6-3**
TEL 03-3773-2221　受付時間：祝日を除く月〜金（**9：00 〜 17：45**）
＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

◆当サービス部では、修理品の直接受付ならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■修理を依頼される場合は

この製品の修理を依頼される場合は、ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL　0570-02-8000　　FAX　03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　年　　月　　日

お買い上げ年月日：　　年　　月　　日

製品名：　　シリアル番号：

フリガナ

お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社

〒

TEL：

FAX：

ご使用のパソコンの機種名：

メモリ容量：　　ハードディスクの空き容量：

OSのバージョン：　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
(おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。)

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

<ニコンカスタマーサポートセンター>

0570-02-8000

市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従ってご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間9:30～18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
TR3G02000301(10)
6MAA5710--